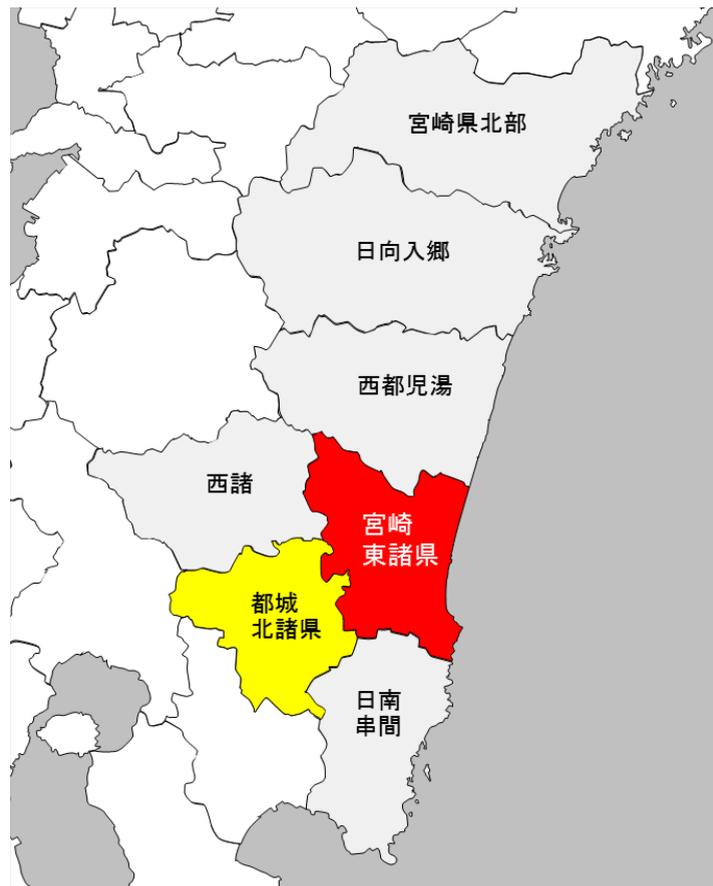


45. 宮崎県

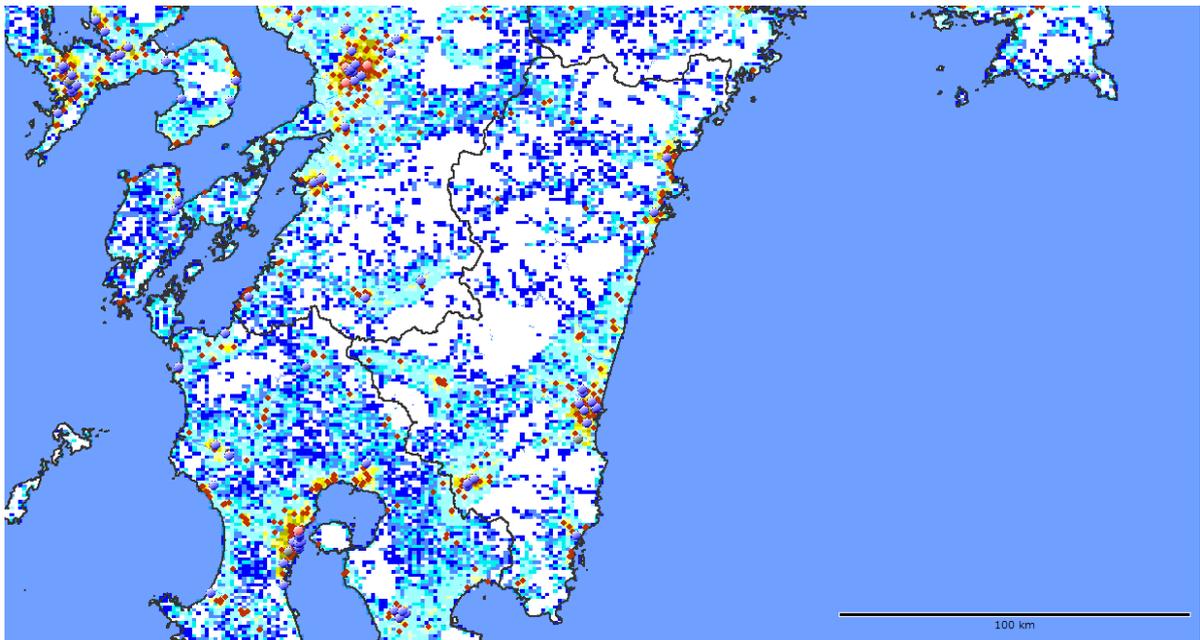


目次

宮崎県	45	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	45	-	8
1. 宮崎東諸県医療圏	45	-	20
2. 都城北諸県医療圏	45	-	25
3. 延岡西臼杵医療圏	45	-	30
4. 日南串間医療圏	45	-	35
5. 西諸医療圏	45	-	40
6. 西都児湯医療圏	45	-	45
7. 日向入郷医療圏	45	-	50

45. 宮崎県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(宮崎県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 宮崎県は、総人口約1104千人(2015年)、面積7735km²、人口密度は143人/km²である。

*人口の将来予測： 宮崎県の総人口は2025年に1034千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に901千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の169千人が、2025年にかけて205千人へと増加し(2015年比+21%)、2040年には213千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 宮崎県の一人当たり医療費(国保)は365千円(偏差値55)、介護給付費は272千円(偏差値56)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 宮崎県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.12、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.46で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が49(病院医師数50、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は62で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 宮崎県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、15260人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が10072床(偏差値48)、高齢者住宅等が5188床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12685人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム45、軽費ホーム50、グループホーム54、サ高住39である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、2612人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

宮崎県の総人口は、2005年1153042人が、2015年に1104069人と4%減少し、2025年の人口が1033671人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

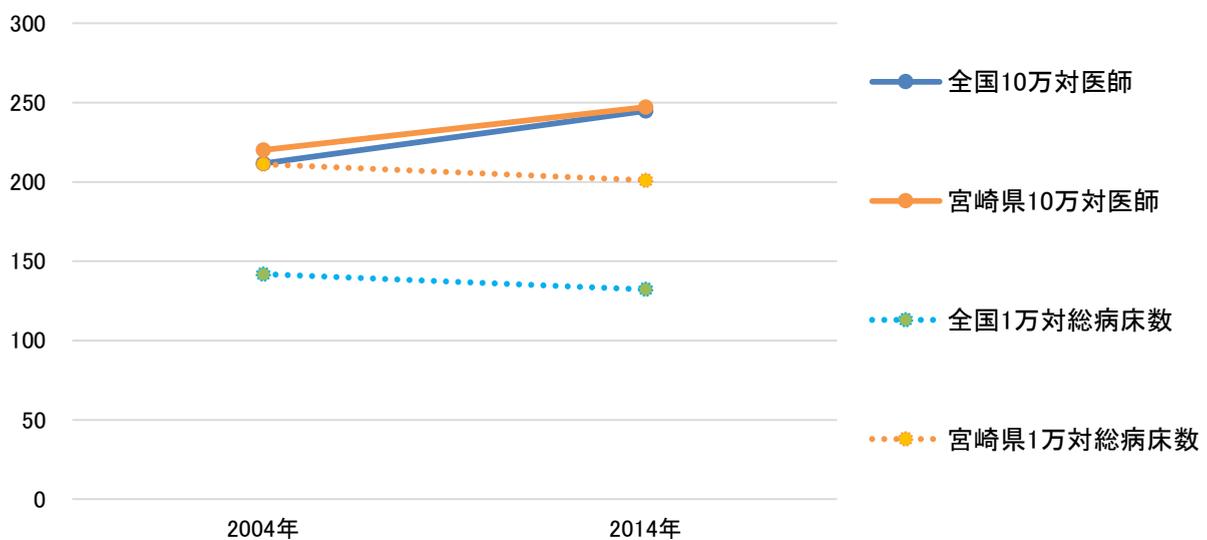
2004年の病院数が149(人口10万人当たり12.9病院(全国平均7.1)偏差値65)であったが、2014年に140(人口10万人当たり12.7病院(全国平均6.7)偏差値65)となり、10年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が896(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2014年に891(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が24356床(人口1万人当たり211(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に22189床(人口1万人当たり201(全国平均132)偏差値62)と、2167床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

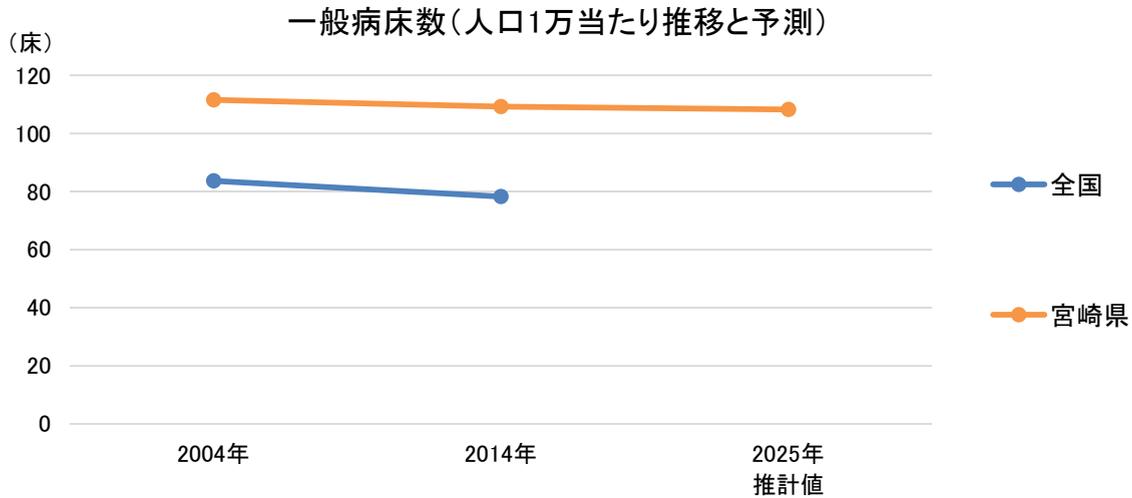
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が2538人(人口10万人当たり220人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に2730人(人口10万人当たり247人(全国平均245人)偏差値50)と、192人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



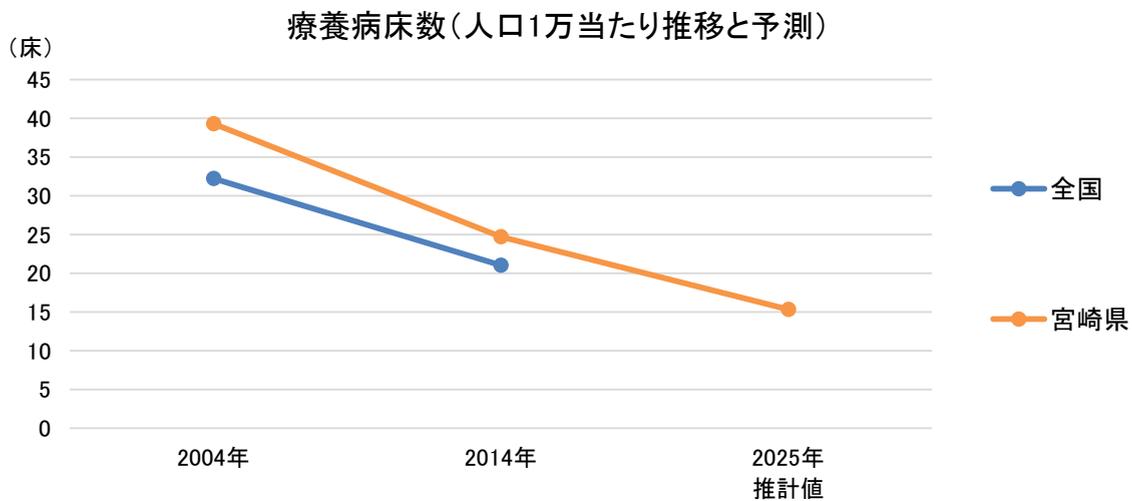
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が12854床(人口1万人当たり111(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に12058床(人口1万人当たり109(全国平均78)偏差値61)と、796床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には11183床(2025年の推計人口1万人当たり108)になることが予想される。



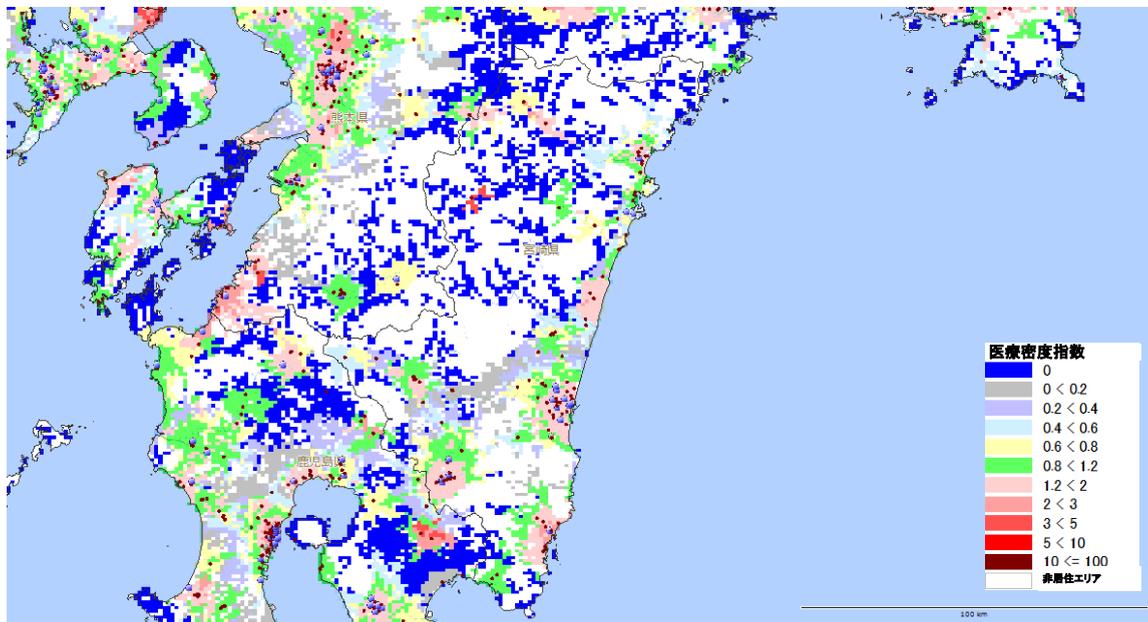
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5134床(75歳以上1000人当たり39(全国平均32)偏差値54)であったが、2014年に4185床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値53)と、949床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3142床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。



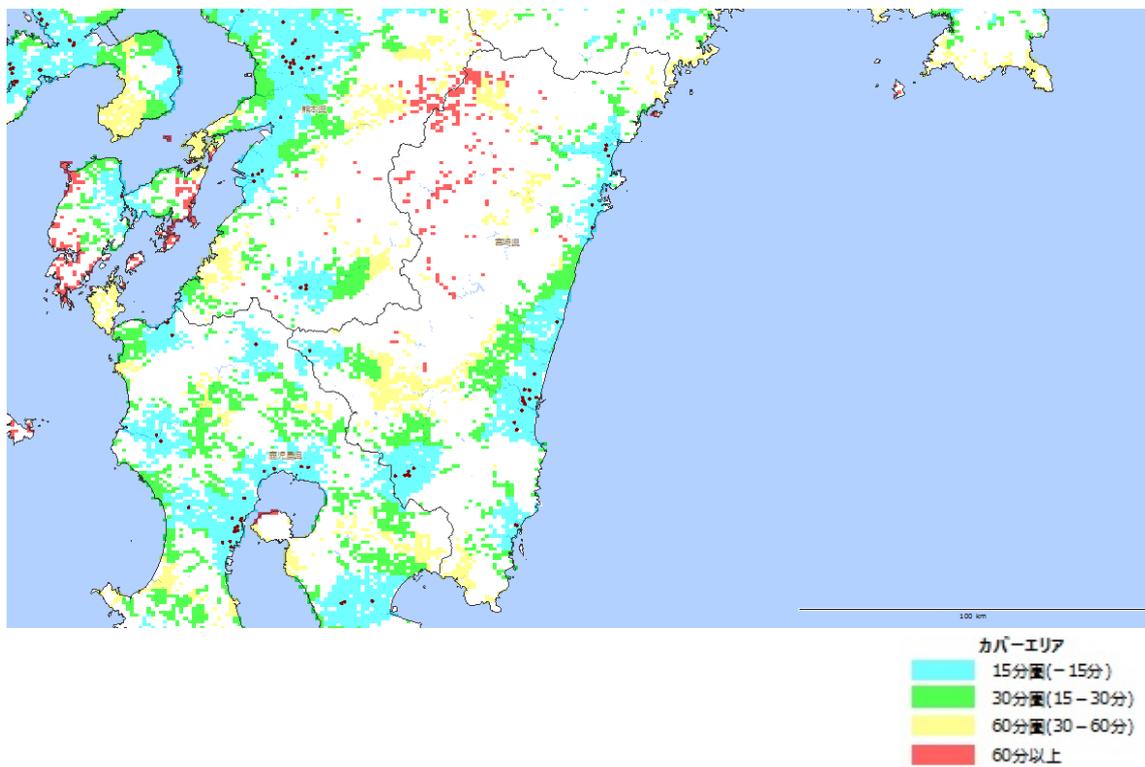
(宮崎県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表45-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



45.宮崎県(2017年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 45-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
宮崎県	1,104	36位	7,735	14位	142.7		29%	1,034	901	169	205	213	-6%	-13%	21%	4%
宮崎東諸県	428	39%	869	11%	492.3	地方都市型	26%	413	375	53	75	84	-4%	-9%	42%	12%
都城北諸県	190	17%	763	10%	249.5	地方都市型	28%	180	161	29	33	34	-5%	-11%	14%	3%
延岡西臼杵	146	13%	1,555	20%	93.7	過疎地域型	32%	132	109	26	29	27	-10%	-17%	12%	-7%
日南串間	73	7%	831	11%	87.7	過疎地域型	36%	64	50	15	15	14	-12%	-22%	0%	-7%
西諸	75	7%	931	12%	80.6	過疎地域型	35%	67	55	15	16	16	-11%	-18%	7%	0%
西都児湯	102	9%	1,154	15%	88.3	過疎地域型	32%	94	78	17	20	19	-8%	-17%	18%	-5%
日向入郷	90	8%	1,631	21%	55.2	過疎地域型	31%	84	72	15	17	17	-7%	-14%	13%	0%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資_図表 45-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
宮崎県	1.12	1.46	14,213	16,682	-17.4%
宮崎東諸県	1.31	1.46	4,382	6,069	-38.5%
都城北諸県	1.10	1.79	2,278	2,682	-17.7%
延岡西臼杵	1.06	2.06	2,078	2,329	-12.1%
日南串間	1.58	1.58	1,293	1,252	3.1%
西諸	0.72	1.23	1,486	1,322	11.0%
西都児湯	0.87	1.51	1,420	1,616	-13.8%
日向入郷	0.64	1.99	1,276	1,411	-10.6%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 45-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)			被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
宮崎県	365	55	1.057	157	59	1.195	186	49	0.983	272	56
宮崎東諸県	344	50	1.022	134	51	1.052	186	49	1.012	264	53
都城北諸県	382	59	1.095	174	65	1.310	186	49	0.974	293	61
延岡西臼杵	356	53	0.997	158	59	1.164	176	44	0.901	281	58
日南串間	427	69	1.167	202	74	1.450	201	57	1.004	279	57
西諸	398	62	1.124	175	65	1.298	203	58	1.050	304	64
西都児湯	344	50	1.004	146	55	1.119	175	43	0.931	254	50
日向入郷	388	60	1.102	177	66	1.323	189	51	0.982	240	46

出典 <一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省
<一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報)
平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)

※後期高齢者の医療費については、資_図表45-35を参照。

資_図表 45-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
宮崎県	140	1.7%	12.7	65	895	0.9%	81	51
宮崎東諸県	41	29%	9.6	57	401	45%	94	58
都城北諸県	28	20%	14.7	70	131	15%	69	44
延岡西臼杵	20	14%	13.7	67	98	11%	67	43
日南串間	12	9%	16.5	74	65	7%	89	55
西諸	16	11%	21.3	86	59	7%	79	50
西都児湯	10	7%	9.8	58	81	9%	79	50
日向入郷	13	9%	14.4	69	60	7%	67	43

出典 平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月

資_図表 45-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床 診療所数				有床 診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
宮崎県	895	0.9%	81	51	719	0.8%	65	46	176	2.2%	15.9	65
宮崎東諸県	401	45%	94	58	333	46%	78	52	68	39%	15.9	65
都城北諸県	131	15%	69	44	86	12%	45	35	45	26%	23.6	77
延岡西臼杵	98	11%	67	43	81	11%	56	40	17	10%	11.7	58
日南串間	65	7%	89	55	56	8%	77	52	9	5%	12.4	60
西諸	59	7%	79	50	47	7%	63	44	12	7%	16.0	65
西都児湯	81	9%	79	50	70	10%	69	48	11	6%	10.8	57
日向入郷	60	7%	67	43	46	6%	51	38	14	8%	15.6	65

出典 平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月

資_図表 45-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+診療所			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
宮崎県	19,207	1.2%	1,740	60	2,833	2.6%	257	67	22,040	1.3%	1,996	62
宮崎東諸県	6,487	34%	1,515	56	1,043	37%	244	66	7,530	34%	1,759	58
都城北諸県	3,677	19%	1,931	64	769	27%	404	82	4,446	20%	2,335	68
延岡西臼杵	2,734	14%	1,876	63	272	10%	187	60	3,006	14%	2,062	63
日南串間	1,890	10%	2,594	77	139	5%	191	60	2,029	9%	2,784	76
西諸	1,426	7%	1,900	63	201	7%	268	68	1,627	7%	2,168	65
西都児湯	1,265	7%	1,241	50	168	6%	165	58	1,433	7%	1,406	52
日向入郷	1,728	9%	1,921	64	241	9%	268	68	1,969	9%	2,188	66
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 45-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
宮崎県	9,470	1.1%	858	57	3,788	1.2%	343	54	5,837	1.7%	529	62
宮崎東諸県	3,780	40%	883	58	1,233	33%	288	51	1,391	24%	325	53
都城北諸県	1,864	20%	979	62	390	10%	205	47	1,419	24%	745	72
延岡西臼杵	1,171	12%	803	54	606	16%	416	58	953	16%	654	68
日南串間	794	8%	1,090	67	413	11%	567	65	674	12%	925	80
西諸	588	6%	783	54	403	11%	537	63	431	7%	574	64
西都児湯	779	8%	764	53	327	9%	321	53	155	3%	152	45
日向入郷	494	5%	549	43	416	11%	462	60	814	14%	905	79
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 45-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期				地域包括			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
宮崎県	867	1.2%	79	54	794	1.3%	72	52
宮崎東諸県	256	30%	60	50	296	37%	69	52
都城北諸県	167	19%	88	56	131	16%	69	52
延岡西臼杵	160	18%	110	61	72	9%	49	48
日南串間	41	5%	56	50	72	9%	99	57
西諸	104	12%	139	67	72	9%	96	57
西都児湯	50	6%	49	48	79	10%	78	53
日向入郷	89	10%	99	59	72	9%	80	54
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 45-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
宮崎県	4,748	4,404	175	14,468	5,005	3,683	46.8%	48	4.5%	48
宮崎東諸県	2,216	2,072	0	4,354	1,728	1,296	54.5%	51	0.0%	46
都城北諸県	307	307	0	3,370	1,557	390	16.5%	35	0.0%	46
延岡西臼杵	684	602	78	2,050	569	528	51.4%	50	12.9%	52
日南串間	731	722	0	1,159	72	413	90.9%	66	0.0%	46
西諸	253	249	0	1,180	339	410	42.3%	46	0.0%	46
西都児湯	264	260	0	920	438	327	37.2%	44	0.0%	46
日向入郷	293	192	97	1,435	302	319	38.9%	45	23.3%	56
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 45-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,218	(1,031)	1,022,592		805	(283)
宮崎県	22,944	0.8%	2,078	49	11,280	1.1%	1,022	58
宮崎東諸県	12,264	53%	2,865	56	5,184	46%	1,211	64
都城北諸県	6,672	29%	3,504	62	2,436	22%	1,279	67
延岡西臼杵	1,716	7%	1,177	40	1,416	13%	972	56
日南串間	672	3%	922	37	804	7%	1,103	61
西諸	720	3%	959	38	396	4%	528	40
西都児湯	312	1%	306	31	312	3%	306	32
日向入郷	588	3%	654	35	732	6%	814	50
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 45-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
宮崎県	2,936	0.9%	266	49	1,868	0.9%	169	50	1,069	0.8%	97	48
宮崎東諸県	1,508	51%	352	59	980	52%	229	59	527	49%	123	57
都城北諸県	426	15%	224	45	279	15%	146	47	148	14%	77	42
延岡西臼杵	288	10%	198	42	173	9%	119	42	115	11%	79	42
日南串間	190	6%	261	49	128	7%	176	51	62	6%	85	44
西諸	170	6%	227	45	97	5%	129	44	74	7%	98	48
西都児湯	186	6%	182	40	105	6%	103	40	80	8%	79	42
日向入郷	168	6%	187	40	104	6%	116	42	64	6%	71	40
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 45-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
宮崎県	119	0.8%	10.8	48	88	0.7%	8.0	46	96	0.9%	8.7	51
宮崎東諸県	86	72%	20.1	62	52	59%	12.1	55	57	59%	13.3	64
都城北諸県	11	9%	5.8	40	10	11%	5.3	40	10	10%	5.3	42
延岡西臼杵	7	6%	4.8	38	8	9%	5.5	40	12	13%	8.2	50
日南串間	6	5%	8.2	44	6	7%	8.2	46	7	7%	9.6	54
西諸	1	1%	1.3	33	3	3%	4.0	37	3	3%	4.0	39
西都児湯	3	3%	2.9	36	6	7%	5.9	41	2	2%	2.0	33
日向入郷	5	4%	5.6	40	3	3%	3.3	36	5	5%	5.6	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 45-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
宮崎県	38	0.7%	3.4	47	80	0.9%	7.2	50	53	0.7%	4.8	46
宮崎東諸県	24	63%	5.6	57	42	53%	9.8	58	32	60%	7.5	56
都城北諸県	4	11%	2.1	40	15	19%	7.9	52	6	11%	3.2	39
延岡西臼杵	3	8%	2.1	40	5	6%	3.4	37	6	11%	4.1	43
日南串間	3	8%	4.1	50	6	8%	8.2	53	3	6%	4.1	43
西諸	1	3%	1.3	36	6	8%	8.0	52	2	4%	2.7	37
西都児湯	0	0%	0	30	2	3%	2.0	33	2	4%	2.0	35
日向入郷	3	8%	3.3	46	4	5%	4.4	41	2	4%	2.2	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 45-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
宮崎県	108	1.3%	9.8	59	194	1.0%	17.6	52	175	1.1%	15.9	58
宮崎東諸県	67	62%	15.7	76	116	60%	27.1	66	90	51%	21.0	70
都城北諸県	7	6%	3.7	42	27	14%	14.2	47	22	13%	11.6	49
延岡西臼杵	12	11%	8.2	55	22	11%	15.1	49	18	10%	12.4	51
日南串間	4	4%	5.5	47	10	5%	13.7	47	10	6%	13.7	54
西諸	7	6%	9.3	58	5	3%	6.7	36	14	8%	18.7	65
西都児湯	3	3%	2.9	40	5	3%	4.9	34	10	6%	9.8	45
日向入郷	8	7%	8.9	57	9	5%	10.0	41	11	6%	12.2	50
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 45-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
宮崎県	52	0.9%	4.7	51	53	0.8%	4.8	49	68	1.3%	6.2	57
宮崎東諸県	26	50%	6.1	58	27	51%	6.3	56	52	76%	12.1	78
都城北諸県	11	21%	5.8	56	10	19%	5.3	51	6	9%	3.2	46
延岡西臼杵	5	10%	3.4	45	4	8%	2.7	40	3	4%	2.1	43
日南串間	2	4%	2.7	41	3	6%	4.1	46	1	1%	1.4	40
西諸	3	6%	4.0	48	3	6%	4.0	46	0	0%	0	36
西都児湯	2	4%	2.0	38	3	6%	2.9	41	3	4%	2.9	46
日向入郷	3	6%	3.3	44	3	6%	3.3	43	3	4%	3.3	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 45-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
宮崎県	71	1.1%	6.4	54	14	0.9%	1.3	51	20	0.6%	1.8	45
宮崎東諸県	44	62%	10.3	67	11	79%	2.6	65	11	55%	2.6	50
都城北諸県	11	15%	5.8	52	0	0%	0	37	2	10%	1.1	41
延岡西臼杵	4	6%	2.7	42	1	7%	0.7	44	3	15%	2.1	47
日南串間	4	6%	5.5	51	1	7%	1.4	52	1	5%	1.4	43
西諸	5	7%	6.7	55	0	0%	0	37	1	5%	1.3	43
西都児湯	0	0%	0	33	1	7%	1.0	47	2	10%	2.0	46
日向入郷	3	4%	3.3	44	0	0%	0	37	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 45-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
宮崎県	14	0.7%	1.3	47	33	1.4%	3.0	59
宮崎東諸県	8	57%	1.9	53	18	55%	4.2	68
都城北諸県	3	21%	1.6	50	5	15%	2.6	56
延岡西臼杵	0	0%	0	37	6	18%	4.1	67
日南串間	1	7%	1.4	48	1	3%	1.4	46
西諸	0	0%	0	37	3	9%	4.0	66
西都児湯	2	14%	2.0	53	0	0%	0	36
日向入郷	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 45-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
宮崎県	15,050	1.4%	1,363	67	11,243	1.2%	1,018	62	3,807	1.9%	345	76
宮崎東諸県	6,052	40%	1,414	69	4,454	40%	1,040	63	1,598	42%	373	80
都城北諸県	2,915	19%	1,531	73	2,162	19%	1,135	67	754	20%	396	83
延岡西臼杵	1,987	13%	1,363	67	1,451	13%	995	61	536	14%	368	79
日南串間	1,071	7%	1,469	71	880	8%	1,208	70	191	5%	262	65
西諸	1,042	7%	1,388	68	800	7%	1,066	64	242	6%	323	73
西都児湯	796	5%	781	47	594	5%	583	44	202	5%	198	56
日向入郷	1,187	8%	1,319	65	903	8%	1,004	62	284	7%	316	72
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 45-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
宮崎県	1,293	1.0%	117	53	2,034	0.7%	184	45
宮崎東諸県	517	40%	121	54	974	48%	228	50
都城北諸県	221	17%	116	53	317	16%	166	43
延岡西臼杵	168	13%	115	53	259	13%	178	45
日南串間	87	7%	119	54	117	6%	161	43
西諸	104	8%	138	57	123	6%	164	43
西都児湯	93	7%	91	48	102	5%	100	36
日向入郷	104	8%	115	53	142	7%	158	42
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 45-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
宮崎県	112	0.8%	0.7	46	18	1.5%	0.1	55	119	1.1%	0.7	53
宮崎東諸県	64	57%	1.2	59	7	39%	0.1	59	48	40%	0.9	63
都城北諸県	12	11%	0.4	41	2	11%	0.1	49	23	19%	0.8	57
延岡西臼杵	11	10%	0.4	41	2	11%	0.1	50	14	12%	0.5	45
日南串間	5	4%	0.3	39	2	11%	0.1	60	3	3%	0.2	28
西諸	11	10%	0.7	48	2	11%	0.1	59	10	8%	0.7	51
西都児湯	9	8%	0.5	43	1	6%	0.1	48	9	8%	0.5	45
日向入郷	0	0%	0	31	2	11%	0.1	60	12	10%	0.8	58
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 45-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差
		シェア	1,000人当り			シェア	1,000人当り			シェア	1,000人当り	
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
宮崎県	15,260	0.9%	90	42	10,072	1.0%	59	48	5,188	0.8%	31	43
宮崎東諸県	4,676	31%	88	41	2,946	29%	55	45	1,730	33%	32	44
都城北諸県	2,704	18%	94	44	1,612	16%	56	45	1,092	21%	38	47
延岡西臼杵	2,246	15%	88	40	1,577	16%	61	50	669	13%	26	40
日南串間	1,369	9%	92	43	1,074	11%	72	59	295	6%	20	36
西諸	1,505	10%	100	48	1,010	10%	67	54	495	10%	33	44
西都児湯	1,471	10%	87	40	1,027	10%	61	50	444	9%	26	40
日向入郷	1,289	8%	87	40	826	8%	56	45	463	9%	31	43
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 45-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差	介護療養病床数	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差
		シェア	1,000人当り			シェア	1,000人当り			シェア	1,000人当り	
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
宮崎県	3,272	0.9%	19	44	5,740	1.0%	34	49	1,060	1.6%	6.3	55
宮崎東諸県	1,126	34%	21	47	1,514	26%	28	43	306	29%	5.7	54
都城北諸県	463	14%	16	39	1,110	19%	38	54	39	4%	1.4	44
延岡西臼杵	533	16%	21	47	845	15%	33	48	199	19%	7.8	59
日南串間	347	11%	23	51	543	9%	37	52	184	17%	12.4	70
西諸	280	9%	19	43	550	10%	36	52	180	17%	11.9	69
西都児湯	307	9%	18	42	660	11%	39	54	60	6%	3.6	49
日向入郷	216	7%	15	36	518	9%	35	50	92	9%	6.2	55
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 45-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差	軽費ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差	グループホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差
		シェア	1,000人当り			シェア	1,000人当り			シェア	1,000人当り	
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
宮崎県	1,483	0.6%	8.8	45	258	1.1%	1.5	50	2,400	1.2%	14.2	54
宮崎東諸県	563	38%	10.6	47	138	53%	2.6	55	735	31%	13.8	53
都城北諸県	168	11%	5.8	42	60	23%	2.1	53	438	18%	15.2	55
延岡西臼杵	232	16%	9.0	45	0	0%	0	43	269	11%	10.5	47
日南串間	122	8%	8.2	44	0	0%	0	43	97	4%	6.5	40
西諸	86	6%	5.7	42	30	12%	2.0	53	360	15%	23.8	70
西都児湯	123	8%	7.3	44	0	0%	0	43	270	11%	16.0	57
日向入郷	189	13%	12.8	49	30	12%	2.0	53	231	10%	15.6	56
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 45-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
宮崎県	1,047	0.4%	6.2	39	0	0.0%	0	44	1,047	0.5%	6.2	39
宮崎東諸県	294	28%	5.5	38	0		0	44	294	28%	5.5	38
都城北諸県	426	41%	14.8	50	0		0	44	426	41%	14.8	52
延岡西臼杵	168	16%	6.5	39	0		0	44	168	16%	6.5	40
日南串間	76	7%	5.1	37	0		0	44	76	7%	5.1	38
西諸	19	2%	1.3	32	0		0	44	19	2%	1.3	32
西都児湯	51	5%	3.0	34	0		0	44	51	5%	3.0	34
日向入郷	13	1%	0.9	31	0		0	44	13	1%	0.9	31
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 45-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
宮崎県	1,806	1.1%	10.7	52	1,320	1.1%	7.8	52	485	1.1%	2.9	50
宮崎東諸県	628	35%	11.8	57	392	30%	7.4	50	236	49%	4.4	66
都城北諸県	271	15%	9.4	46	187	14%	6.5	46	84	17%	2.9	50
延岡西臼杵	249	14%	9.7	48	203	15%	7.9	53	46	10%	1.8	39
日南串間	160	9%	10.8	52	148	11%	10.0	62	12	2%	0.8	28
西諸	177	10%	11.7	56	148	11%	9.8	62	29	6%	1.9	40
西都児湯	156	9%	9.2	46	121	9%	7.2	49	34	7%	2.0	41
日向入郷	166	9%	11.2	54	122	9%	8.2	54	44	9%	3.0	51
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 45-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
宮崎県	15,297	1.0%	90	50	12,685	1.0%	75	49	2,612	1.2%	15.4	53
宮崎東諸県	5,252	34%	99	57	4,054	32%	76	50	1,198	46%	22.5	65
都城北諸県	2,707	18%	94	53	2,311	18%	80	53	396	15%	13.7	50
延岡西臼杵	2,047	13%	80	42	1,697	13%	66	41	350	13%	13.7	50
日南串間	1,203	8%	81	43	1,011	8%	68	43	192	7%	12.9	48
西諸	1,381	9%	91	51	1,234	10%	82	55	147	6%	9.7	43
西都児湯	1,381	9%	82	43	1,226	10%	73	47	154	6%	9.2	42
日向入郷	1,325	9%	90	49	1,151	9%	78	51	174	7%	11.8	46
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 45-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
宮崎県	7,978	0.7%	47	44	2,282	0.5%	13	38	16,326	1.1%	96	51
宮崎東諸県	4,499	56%	84	56	1,228	54%	23	46	8,733	53%	164	72
都城北諸県	777	10%	27	37	340	15%	12	36	2,462	15%	85	48
延岡西臼杵	1,471	18%	57	47	191	8%	7	33	1,864	11%	73	44
日南串間	85	1%	6	31	48	2%	3	29	945	6%	64	41
西諸	695	9%	46	43	180	8%	12	37	826	5%	55	38
西都児湯	348	4%	21	35	107	5%	6	32	547	3%	32	32
日向入郷	103	1%	7	31	188	8%	13	37	949	6%	64	41
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 45-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
宮崎県		1,153,042	1,104,069	-4%	1,033,671	-10%	6%	3%	10%
宮崎東諸県	地方都市型	424,763	428,089	1%	413,459	-3%	13%	10%	24%
都城北諸県	地方都市型	195,500	190,433	-3%	180,094	-8%	6%	2%	8%
延岡西臼杵	過疎地域型	159,803	145,747	-9%	132,232	-17%	3%	-2%	1%
日南串間	過疎地域型	83,032	72,869	-12%	63,662	-23%	-2%	-5%	-7%
西諸	過疎地域型	83,522	75,059	-10%	67,147	-20%	0%	-1%	-2%
西都児湯	過疎地域型	111,189	101,901	-8%	93,518	-16%	4%	0%	4%
日向入郷	過疎地域型	95,233	89,971	-6%	83,559	-12%	6%	2%	8%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 45-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
宮崎県	149	12.9	65	140	12.7	65	-9	-6%	131
宮崎東諸県	41	9.7	57	41	9.6	57	0	0%	41
都城北諸県	30	15.3	71	28	14.7	69	-2	-7%	26
延岡西臼杵	21	13.1	66	20	13.7	67	-1	-5%	19
日南串間	12	14.5	69	12	16.5	74	0	0%	12
西諸	18	21.6	88	16	21.3	85	-2	-11%	14
西都児湯	12	10.8	60	10	9.8	58	-2	-17%	8
日向入郷	15	15.8	72	13	14.4	69	-2	-13%	11
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 45-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
宮崎県	896	78	51	891	81	51	-5	-1%	885
宮崎東諸県	387	91	58	399	93	58	12	3%	412
都城北諸県	146	75	49	133	70	45	-13	-9%	119
延岡西臼杵	102	64	44	95	65	43	-7	-7%	87
日南串間	66	79	52	65	89	55	-1	-2%	64
西諸	61	73	49	58	77	49	-3	-5%	55
西都児湯	78	70	47	81	79	50	3	4%	84
日向入郷	56	59	41	60	67	43	4	7%	64
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 45-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
宮崎県	2,538	220	51	2,730	247	50	192	8%	2,943
宮崎東諸県	1,303	307	61	1,519	355	62	216	17%	1,757
都城北諸県	357	183	47	364	191	44	7	2%	372
延岡西臼杵	294	184	47	259	178	43	-35	-12%	221
日南串間	166	200	49	158	217	47	-8	-5%	149
西諸	141	169	45	136	181	43	-5	-4%	131
西都児湯	134	121	39	140	137	39	6	4%	147
日向入郷	143	150	43	154	171	42	11	8%	166
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 45-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
宮崎県	24,356	211	62	22,189	201	62	-2,167	-9%	19,805
宮崎東諸県	8,346	196	60	7,670	179	58	-676	-8%	6,926
都城北諸県	4,793	245	68	4,395	231	67	-398	-8%	3,957
延岡西臼杵	3,297	206	62	3,056	210	64	-241	-7%	2,791
日南串間	2,077	250	69	2,029	278	76	-48	-2%	1,976
西諸	1,709	205	61	1,634	218	65	-75	-4%	1,552
西都児湯	2,056	185	58	1,433	141	51	-623	-30%	748
日向入郷	2,078	218	64	1,972	219	65	-106	-5%	1,855
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 45-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
宮崎県	12,854	111	60	12,058	109	61	-796	-6%	11,183	108
宮崎東諸県	5,018	118	62	4,718	110	62	-300	-6%	4,388	106
都城北諸県	2,495	128	66	2,526	133	70	31	1%	2,560	142
延岡西臼杵	1,639	103	57	1,546	106	60	-93	-6%	1,444	109
日南串間	975	117	62	905	124	67	-70	-7%	828	130
西諸	752	90	52	741	99	58	-11	-1%	729	109
西都児湯	985	89	52	883	87	53	-102	-10%	771	82
日向入郷	990	104	57	739	82	51	-251	-25%	463	55
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 45-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
宮崎県	5,134	39	54	4,185	25	53	-949	-18%	3,142	15
宮崎東諸県	1,852	49	60	1,478	28	56	-374	-20%	1,067	14
都城北諸県	852	37	53	449	16	45	-403	-47%	6	0
延岡西臼杵	701	35	51	553	22	50	-148	-21%	390	14
日南串間	419	34	51	441	30	57	22	5%	465	30
西諸	522	42	55	458	30	58	-64	-12%	388	24
西都児湯	518	38	53	391	23	52	-127	-25%	251	13
日向入郷	270	24	45	415	28	56	145	54%	575	33
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

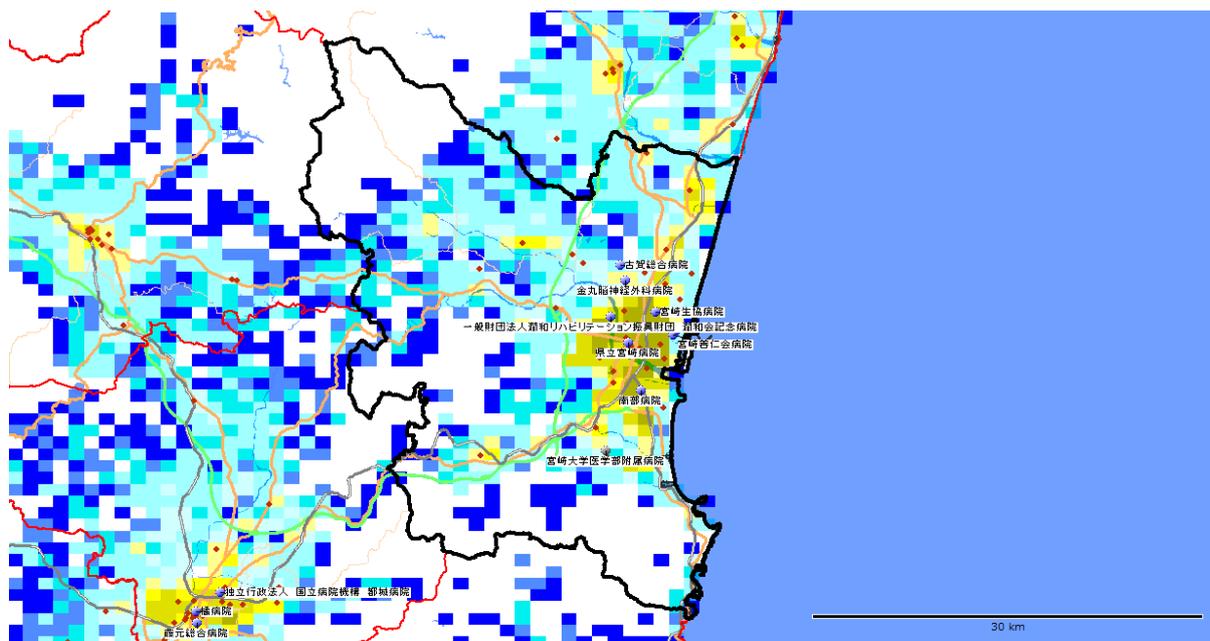
資_図表 45-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)		
				偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000
宮崎県	913	48	0.976	465	51	1.000	422	45	0.964
宮崎東諸県	929	50	0.993	442	48	0.953	456	54	1.038
都城北諸県	981	54	1.036	501	54	1.062	456	54	1.029
延岡西臼杵	865	44	0.932	455	49	0.984	384	36	0.885
日南串間	905	48	0.965	485	53	1.038	396	39	0.903
西諸	886	46	0.950	457	50	0.974	412	43	0.953
西都児湯	887	46	0.949	473	51	1.011	389	37	0.896
日向入郷	869	45	0.937	478	52	1.036	368	32	0.849
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

45-1. みやざきひがしむろかた 宮崎東諸県医療圏

構成市区町村⁹ [宮崎市](#) [国富町](#) [綾町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(宮崎東諸県医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 宮崎東諸県(宮崎市)は、総人口約428千人(2015年)、面積869km²、人口密度は492人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 宮崎東諸県の総人口は2025年に413千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に375千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の53千人が、2025年にかけて75千人へと増加し(2015年比+42%)、2040年には84千人へと増加する(2025年比+12%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 宮崎東諸県の一人当たり医療費(国保)は344千円(偏差値50)、介護給付費は264千円(偏差値53)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 宮崎東諸県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.31、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.46で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が59(病院医師数59、診療所医師数57)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は69と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。宮崎東諸県には、年間全身麻酔件数が2000例以上の県立宮崎病院(Ⅲ群・救命)、宮崎大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の宮崎善仁会病院(Ⅲ群)、古賀総合病院(Ⅲ群)、500例以上の宮崎市郡医師会病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 宮崎東諸県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4676人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2946床(偏差値45)、高齢者住宅等が1730床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4054人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム47、軽費ホーム55、グループホーム53、サ高住38である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値59と多く、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、1198人(75歳以上1000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-39%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(宮崎東諸県医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

宮崎東諸県医療圏の総人口は、2005年424763人が、2015年に428089人と1%増加し、2025年の人口が413459人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

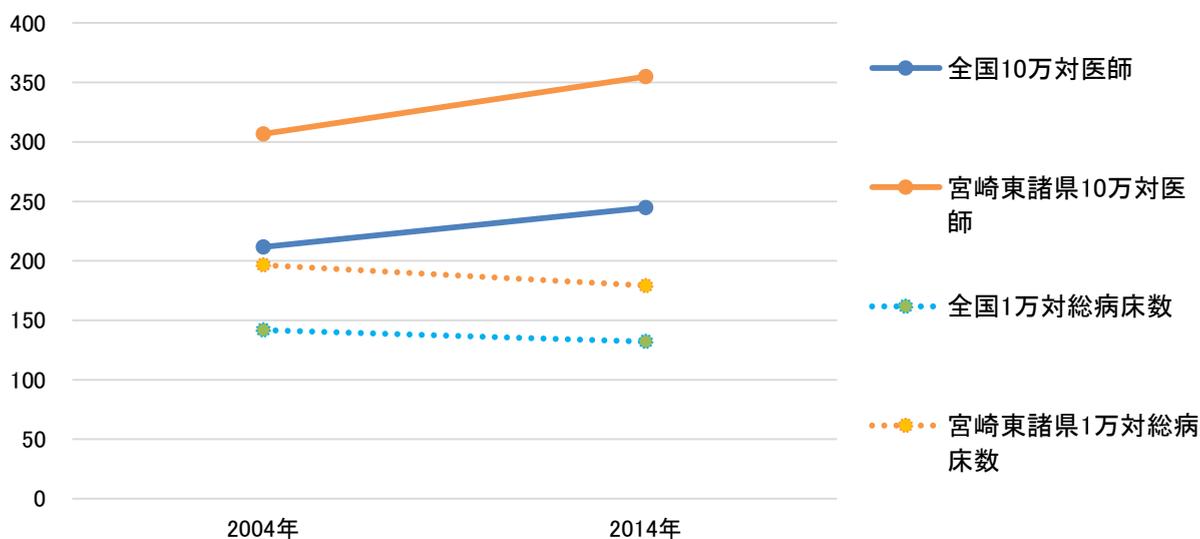
2004年の病院数が41(人口10万人当たり9.7病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2014年に41(人口10万人当たり9.6病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が387(人口10万人当たり91診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2014年に399(人口10万人当たり93診療所(全国平均79)偏差値58)と、12診療所が増加した。

2004年の総病床数が8346床(人口1万人当たり196(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に7670床(人口1万人当たり179(全国平均132)偏差値58)と、676床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

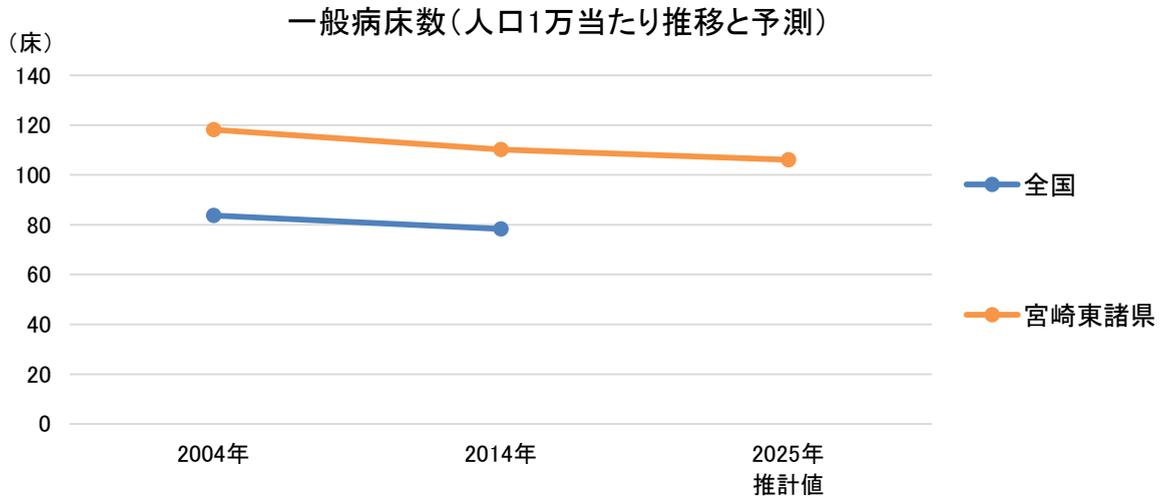
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1303人(人口10万人当たり307人(全国平均212人)偏差値61)であったが、2014年に1519人(人口10万人当たり355人(全国平均245人)偏差値62)と、216人の増加、率にして17%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



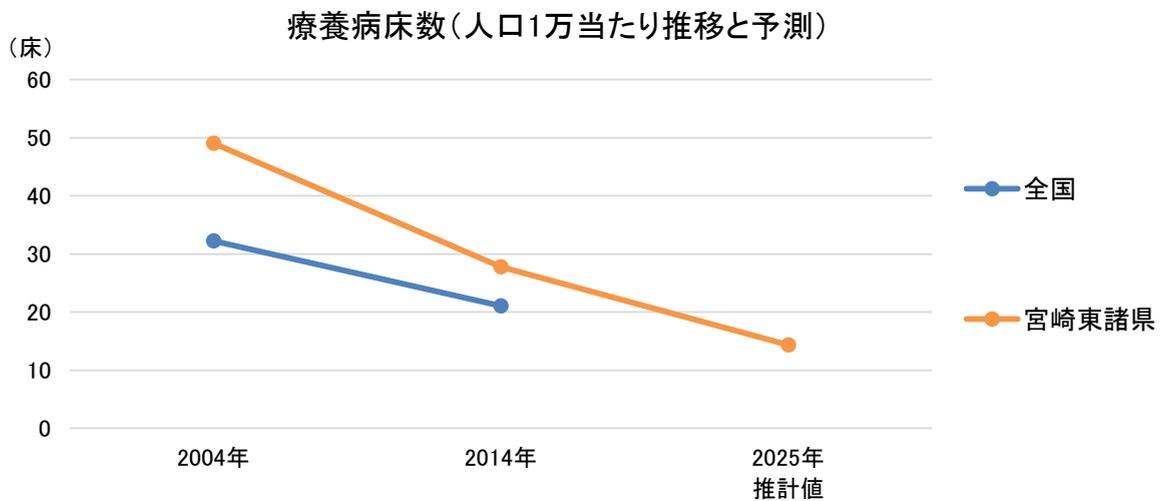
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5018床(人口1万人当たり118(全国平均84)偏差値62)であったが、2014年に4718床(人口1万人当たり110(全国平均78)偏差値62)と、300床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4388床(2025年の推計人口1万人当たり106)になることが予想される。



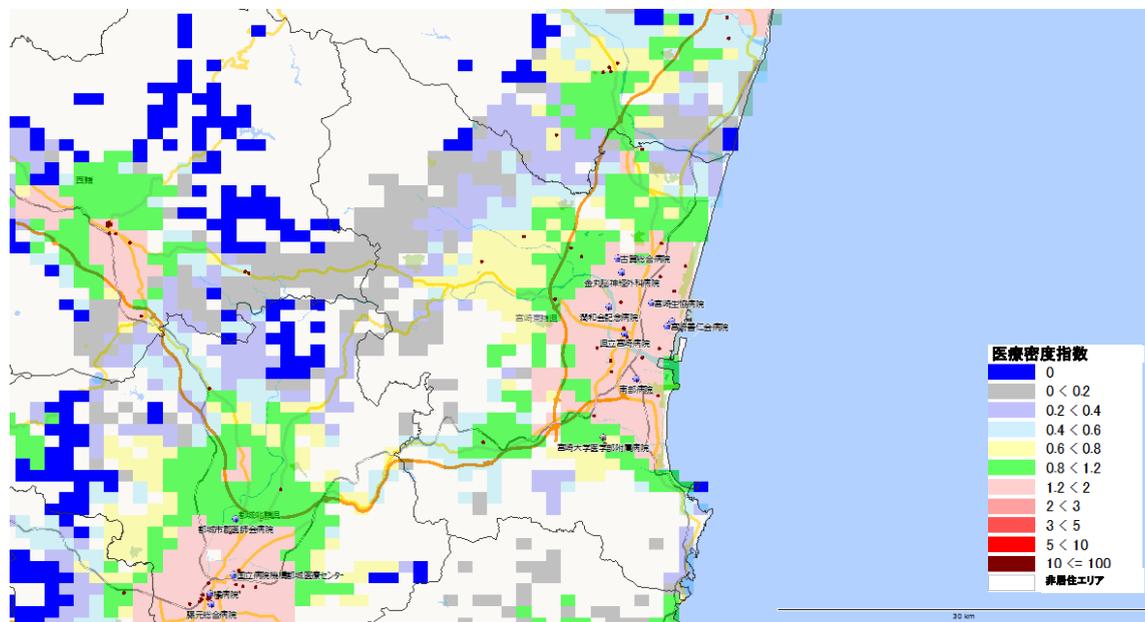
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1852床(75歳以上1000人当たり49(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に1478床(75歳以上1000人当たり28(全国平均21)偏差値56)と、374床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1067床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。



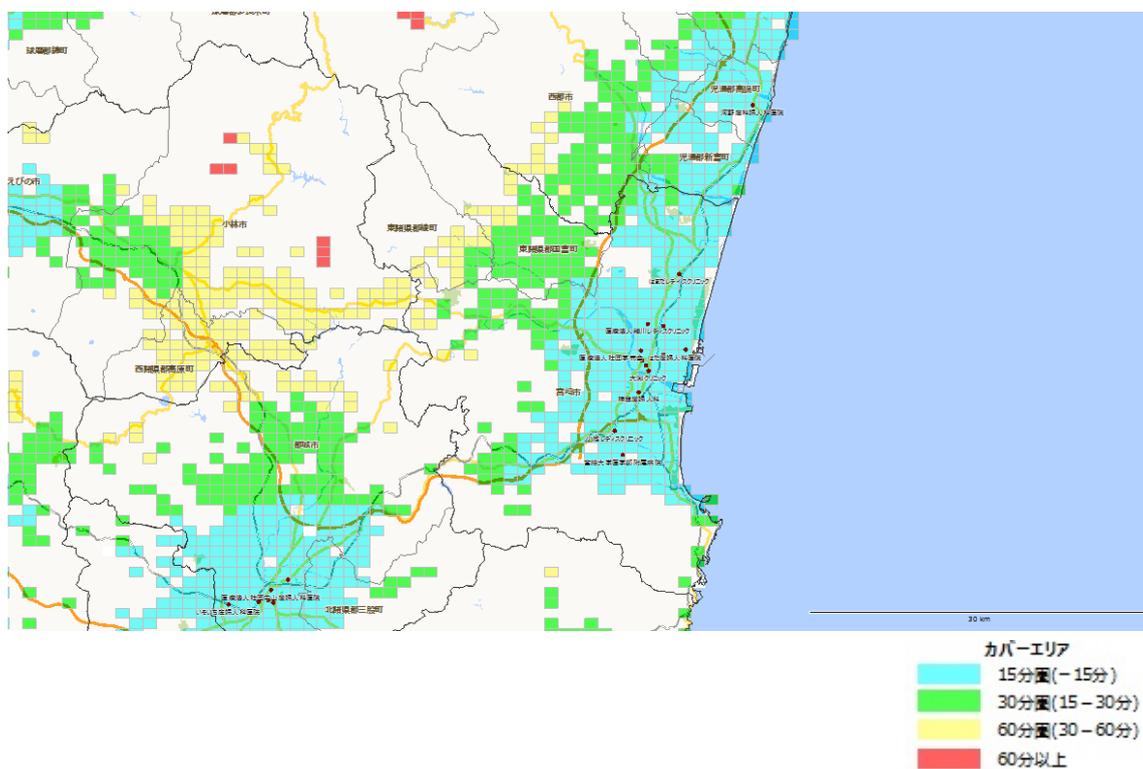
(宮崎東諸県医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表45-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

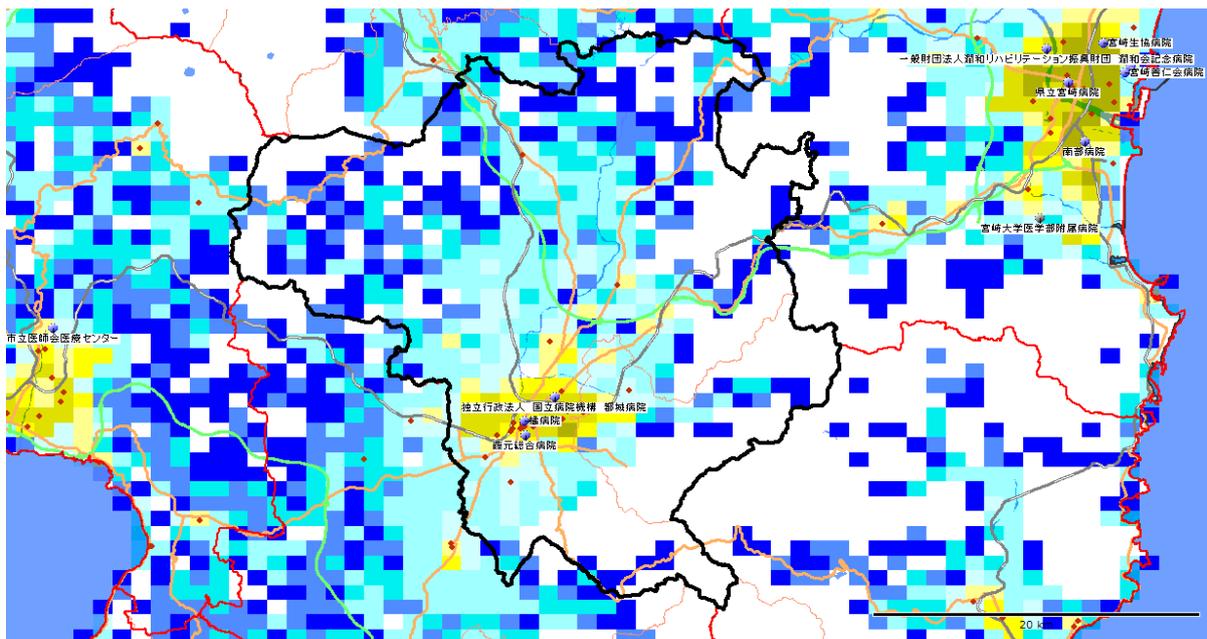
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



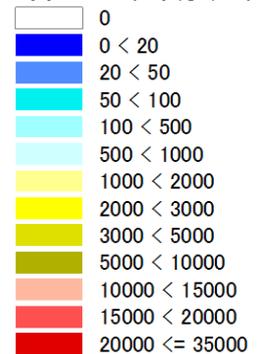
45-2. みやこのじょうきたもろかた 都城北諸県医療圏

構成市区町村⁹ [都城市](#) [三股町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I 群

● II 群

● III 群

● 一般病院

(都城北諸県医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 都城北諸県(都城市)は、総人口約190千人(2015年)、面積763km²、人口密度は249人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 都城北諸県の総人口は2025年に180千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に161千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の29千人が、2025年にかけて33千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には34千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 都城北諸県の一人当たり医療費(国保)は382千円(偏差値59)、介護給付費は293千円(偏差値61)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 都城北諸県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.1、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.79で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数47、診療所医師数42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は73と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は62と多い。都城北諸県には、年間全身麻酔件数が1000例以上の国立病院機構都城医療センター(Ⅲ群)、500例以上の藤元総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は72で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 都城北諸県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2704人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1612床(偏差値45)、高齢者住宅等が1092床(偏差値47)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2311人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム42、軽費ホーム53、グループホーム55、サ高住50である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、396人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-18%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(都城北諸県医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

都城北諸県医療圏の総人口は、2005年195500人が、2015年に190433人と3%減少し、2025年の人口が180094人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

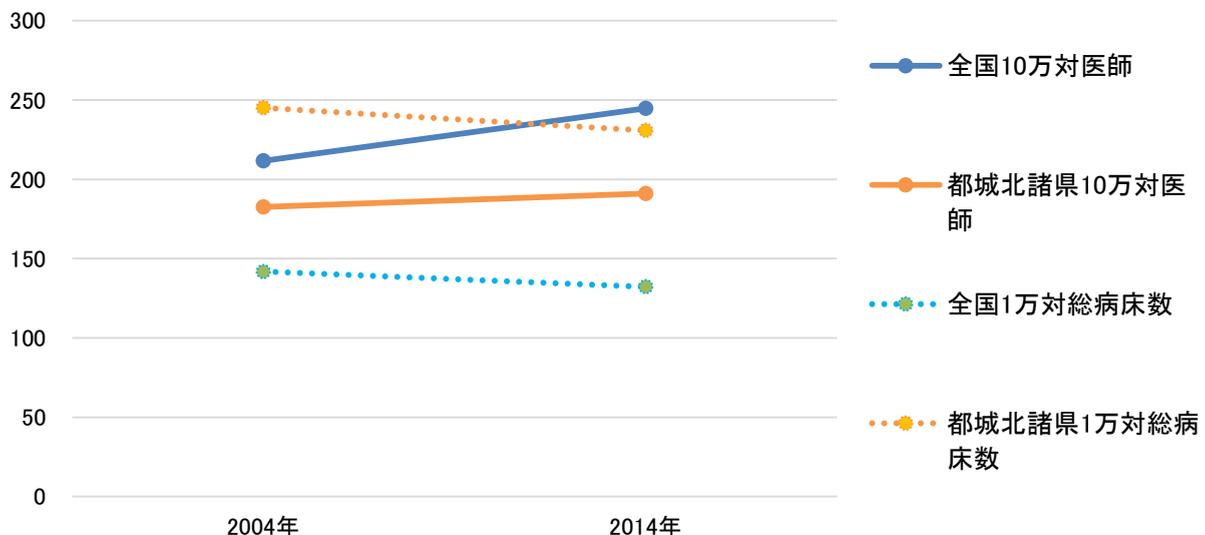
2004年の病院数が30(人口10万人当たり15.3病院(全国平均7.1)偏差値71)であったが、2014年に28(人口10万人当たり14.7病院(全国平均6.7)偏差値69)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が146(人口10万人当たり75診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に133(人口10万人当たり70診療所(全国平均79)偏差値45)と、13診療所が減少した。

2004年の総病床数が4793床(人口1万人当たり245(全国平均142)偏差値68)であったが、2014年に4395床(人口1万人当たり231(全国平均132)偏差値67)と、398床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

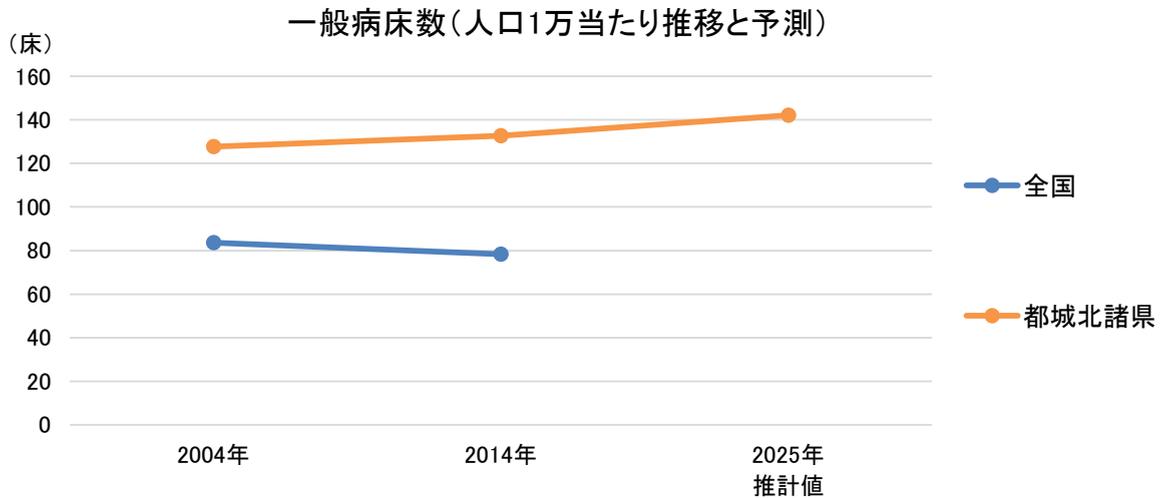
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が357人(人口10万人当たり183人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に364人(人口10万人当たり191人(全国平均245人)偏差値44)と、7人の増加、率にして2%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



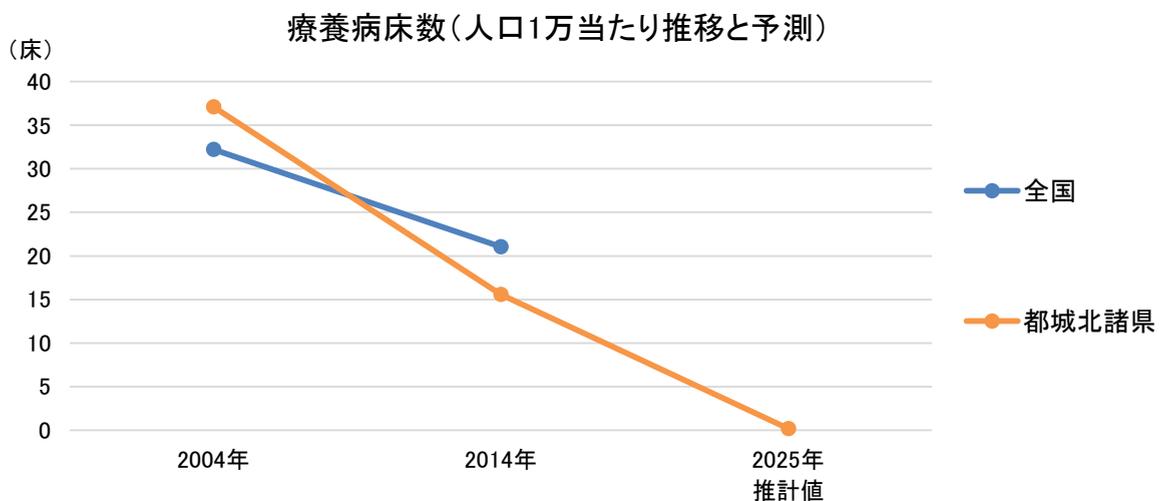
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2495床(人口1万人当たり128(全国平均84)偏差値66)であったが、2014年に2526床(人口1万人当たり133(全国平均78)偏差値70)と、31床の増加、率にして1%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2560床(2025年の推計人口1万人当たり142)になることが予想される。



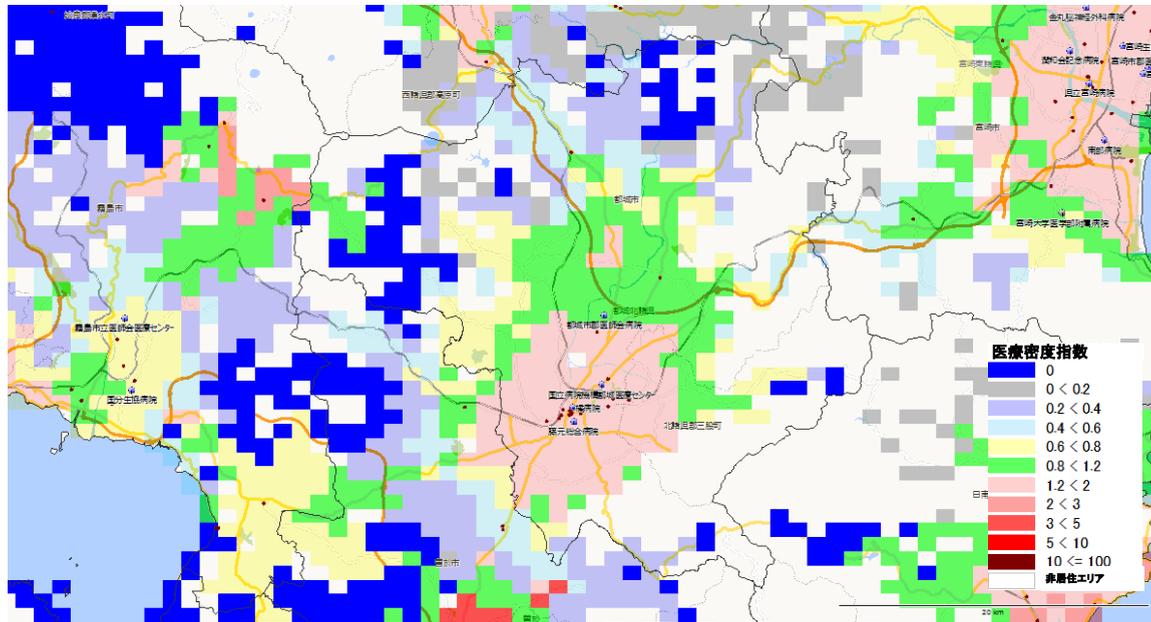
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が852床(75歳以上1000人当たり37(全国平均32)偏差値53)であったが、2014年に449床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値45)と、403床の減少、率にして47%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6床(2025年の推計75歳以上1000人当たり0)になることが予想される。



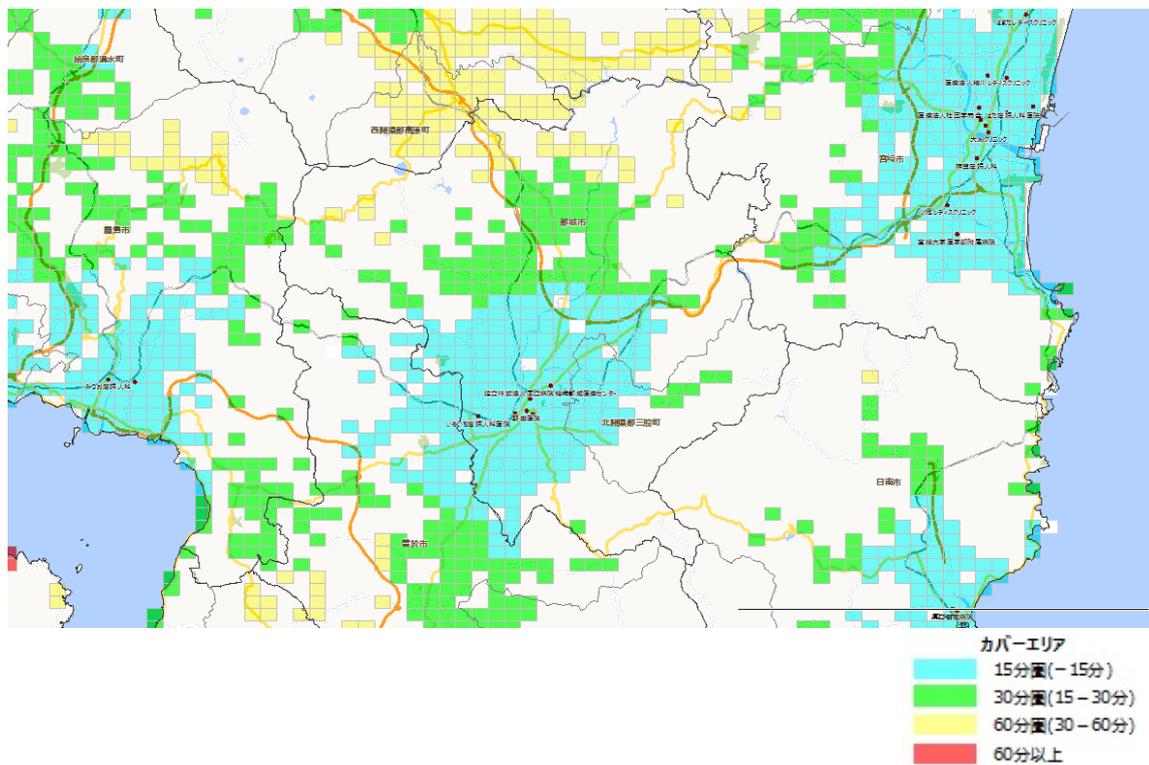
(都城北諸県医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表45-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

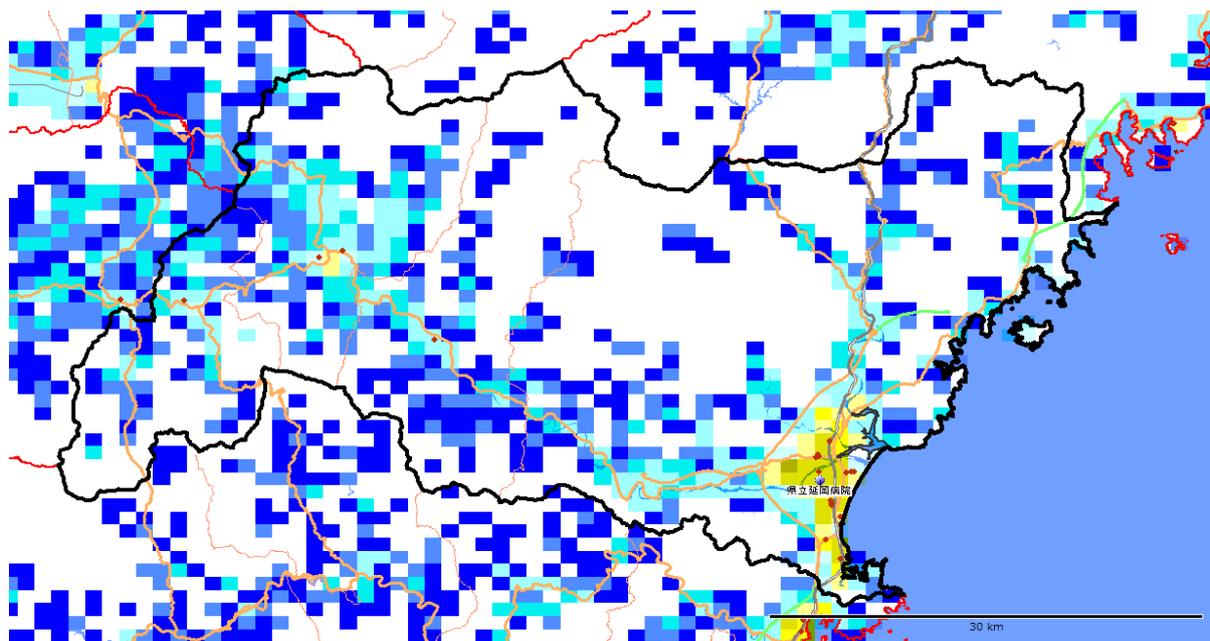
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



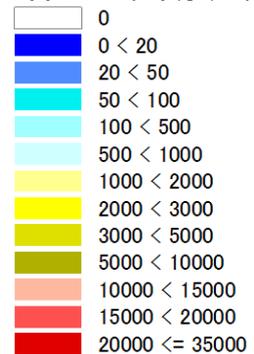
45-3. のべおかにしうすき 延岡西臼杵医療圏

構成市区町村⁹ [延岡市](#) [高千穂町](#) [日之影町](#) [五ヶ瀬町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(延岡西臼杵医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 延岡西臼杵(延岡市)は、総人口約146千人(2015年)、面積1555km²、人口密度は94人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 延岡西臼杵の総人口は2025年に132千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に109千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて29千人へと増加し(2015年比+12%)、2040年には27千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 延岡西臼杵の一人当たり医療費(国保)は356千円(偏差値53)、介護給付費は281千円(偏差値58)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 延岡西臼杵の一人当たり急性期医療密度指数²は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.06で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が42(病院医師数42、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。延岡西臼杵には、年間全身麻酔件数が1000例以上の県立延岡病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値61と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は68で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 延岡西臼杵の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2246人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1577床(偏差値50)、高齢者住宅等が669床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1697人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム47、サ高住39である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、350人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(延岡西臼杵医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

延岡西臼杵医療圏の総人口は、2005年159803人が、2015年に145747人と9%減少し、2025年の人口が132232人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

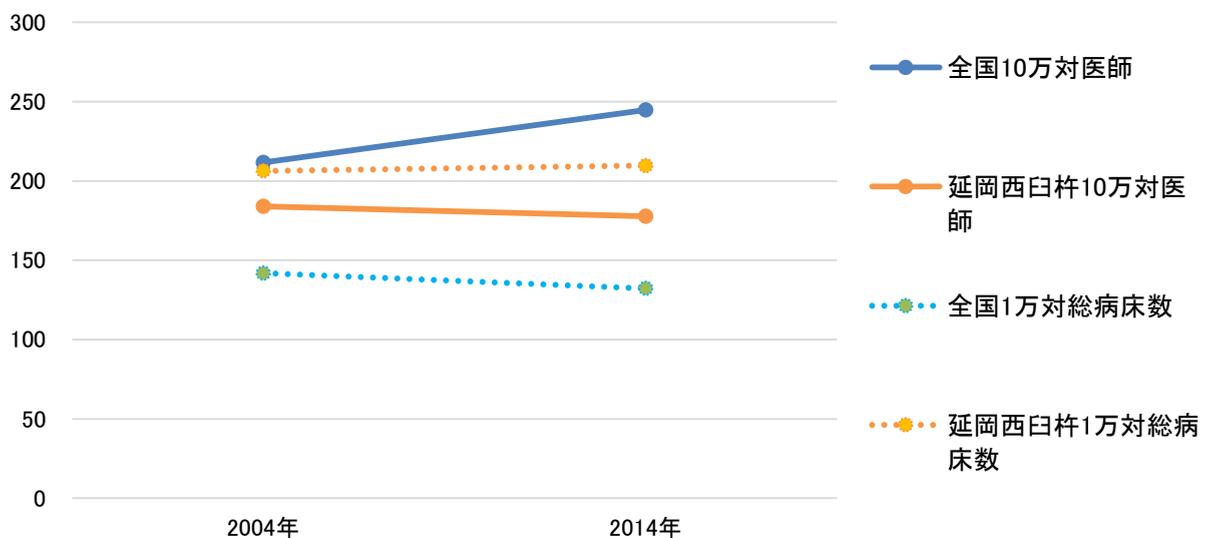
2004年の病院数が21(人口10万人当たり13.1病院(全国平均7.1)偏差値66)であったが、2014年に20(人口10万人当たり13.7病院(全国平均6.7)偏差値67)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が102(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に95(人口10万人当たり65診療所(全国平均79)偏差値43)と、7診療所が減少した。

2004年の総病床数が3297床(人口1万人当たり206(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に3056床(人口1万人当たり210(全国平均132)偏差値64)と、241床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

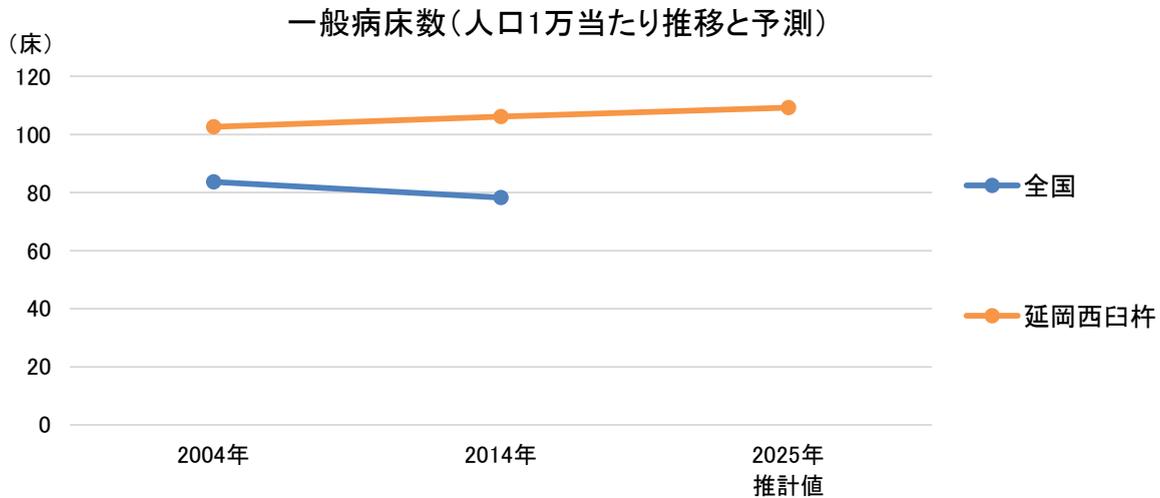
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が294人(人口10万人当たり184人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に259人(人口10万人当たり178人(全国平均245人)偏差値43)と、35人の減少、率にして12%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



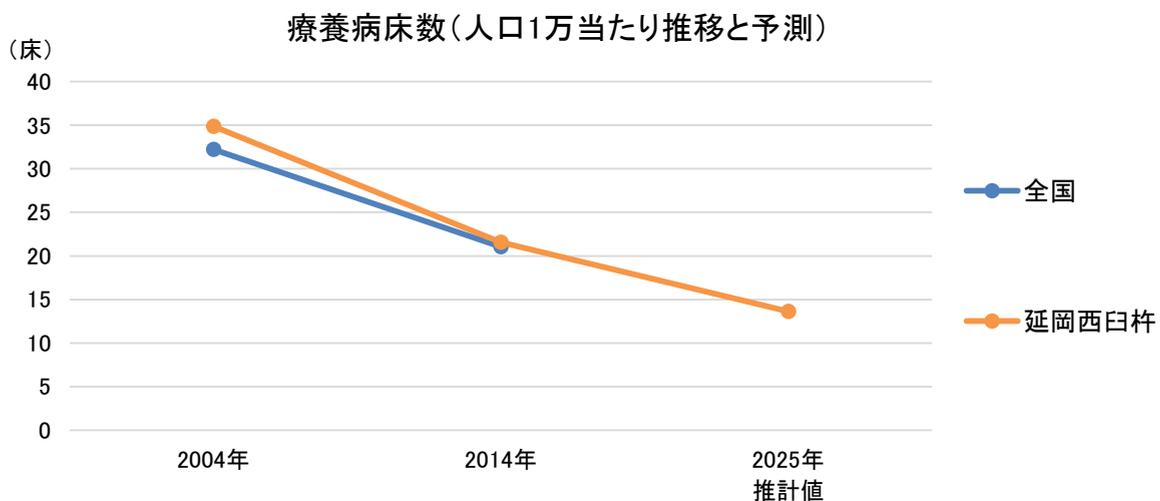
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1639床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に1546床(人口1万人当たり106(全国平均78)偏差値60)と、93床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1444床(2025年の推計人口1万人当たり109)になることが予想される。



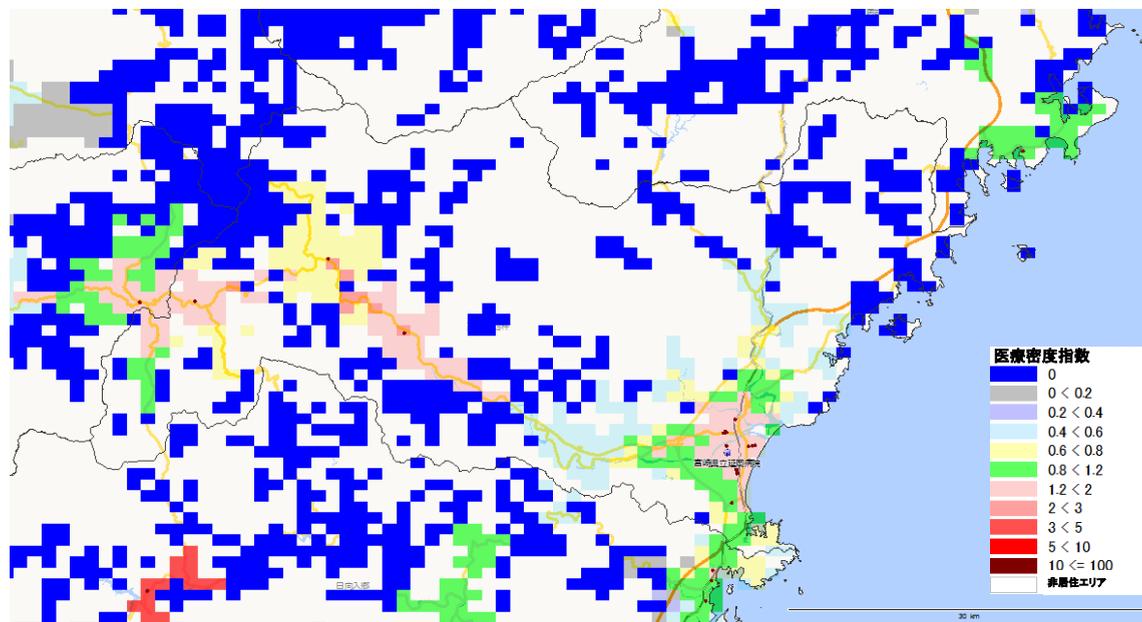
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が701床(75歳以上1000人当たり35(全国平均32)偏差値51)であったが、2014年に553床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値50)と、148床の減少、率にして21%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には390床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。



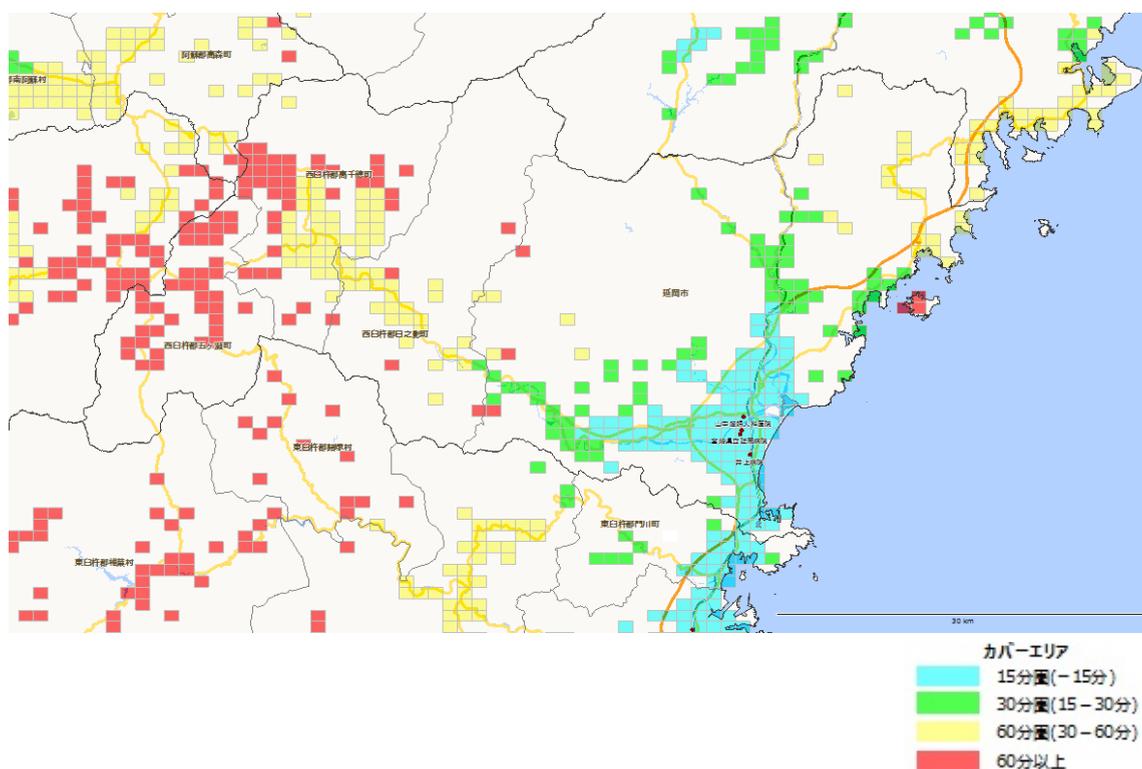
(延岡西臼杵医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表45-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

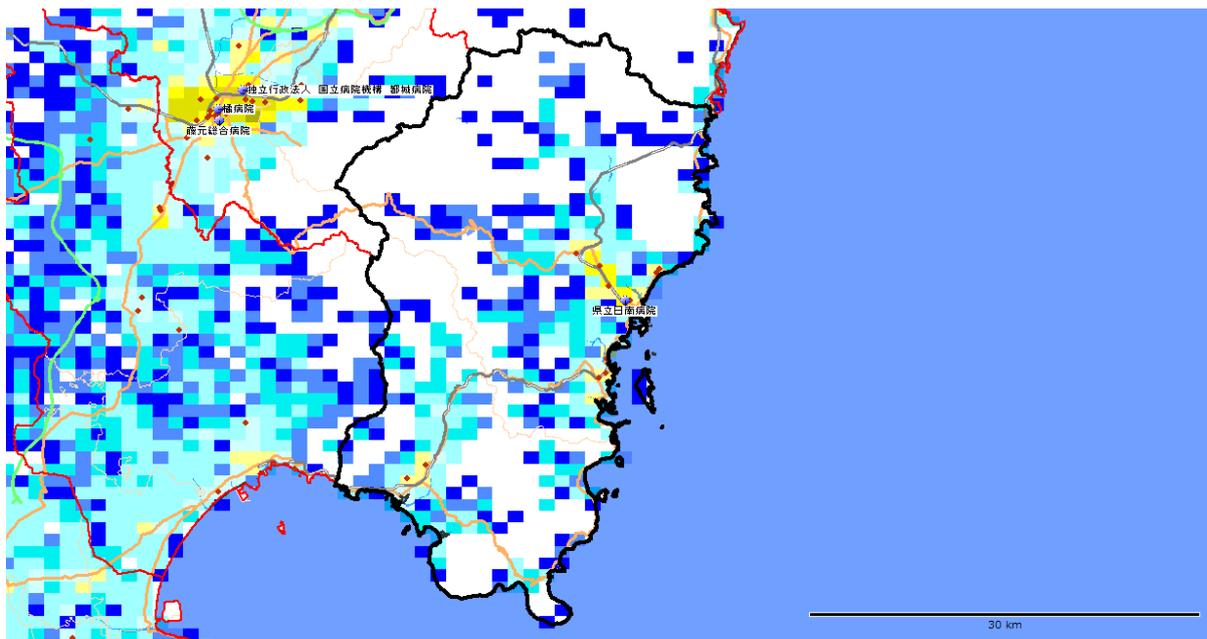
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



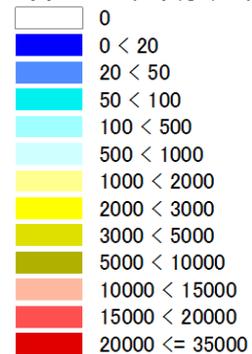
45-4. にちなんくしま 日南串間医療圏

構成市区町村⁹ [日南市](#) [串間市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I 群

● II 群

● III 群

● 一般病院

(日南串間医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 日南串間(日南市)は、総人口約73千人(2015年)、面積831km²、人口密度は88人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 日南串間の総人口は2025年に64千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に50千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて15千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には14千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 日南串間の一人当たり医療費(国保)は427千円(偏差値69)、介護給付費は279千円(偏差値57)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 日南串間の一人当たり急性期医療密度指数²は1.58、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.58で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が49(病院医師数51、診療所医師数44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は67で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。日南串間には、年間全身麻酔件数が500例以上の県立日南病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は65と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は80で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 日南串間の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1369人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1074床(偏差値59)、高齢者住宅等が295床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1011人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設70、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム40、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値28と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、192人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+3%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(日南串間医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

日南串間医療圏の総人口は、2005年83032人が、2015年に72869人と12%減少し、2025年の人口が63662人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

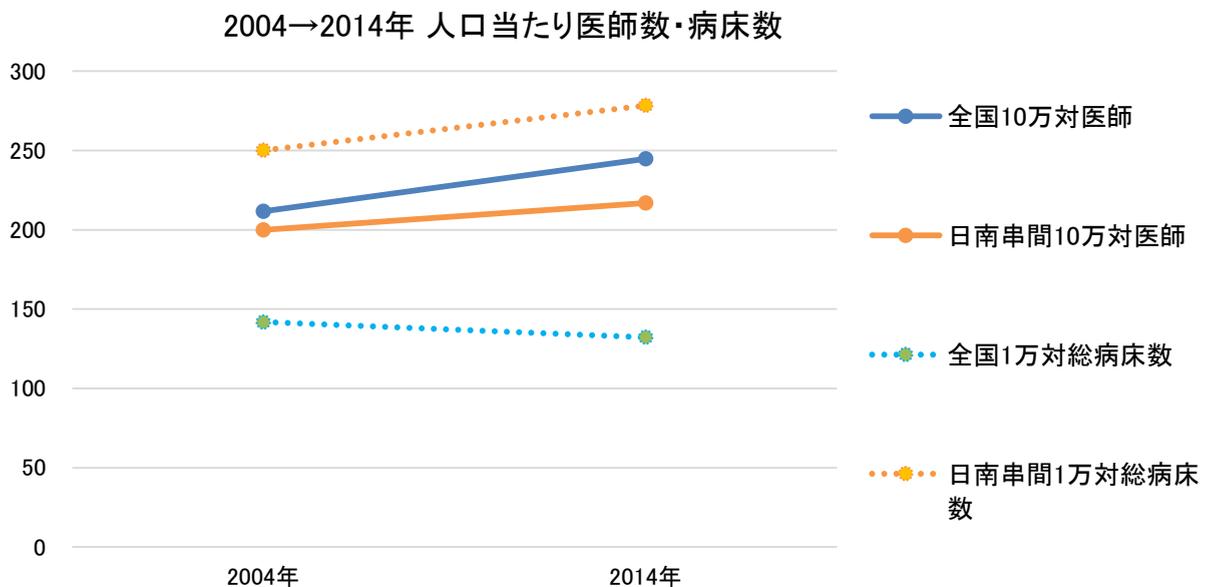
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が12(人口10万人当たり14.5病院(全国平均7.1)偏差値69)であったが、2014年に12(人口10万人当たり16.5病院(全国平均6.7)偏差値74)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が66(人口10万人当たり79診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2014年に65(人口10万人当たり89診療所(全国平均79)偏差値55)と、1診療所が減少した。

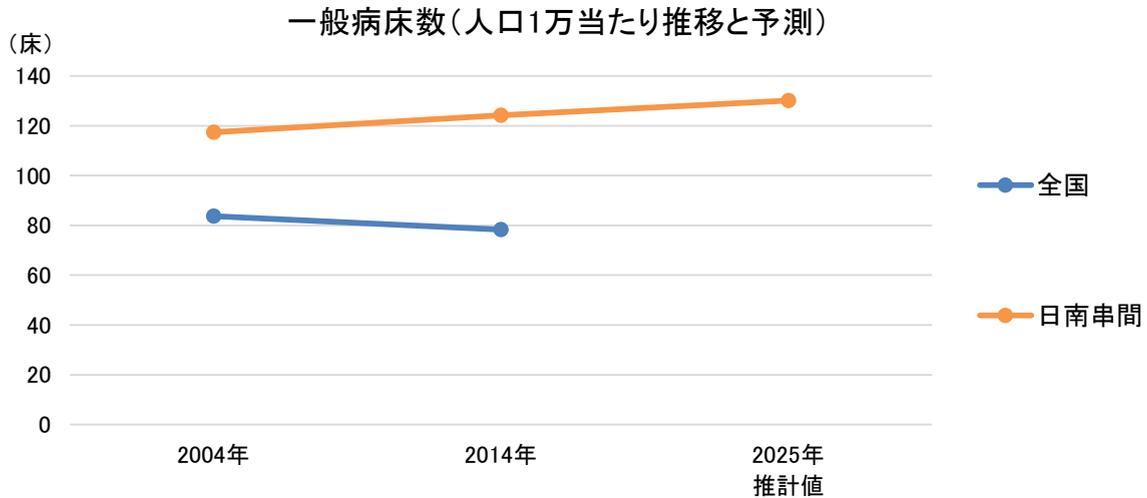
2004年の総病床数が2077床(人口1万人当たり250(全国平均142)偏差値69)であったが、2014年に2029床(人口1万人当たり278(全国平均132)偏差値76)と、48床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が166人(人口10万人当たり200人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に158人(人口10万人当たり217人(全国平均245人)偏差値47)と、8人の減少、率にして5%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



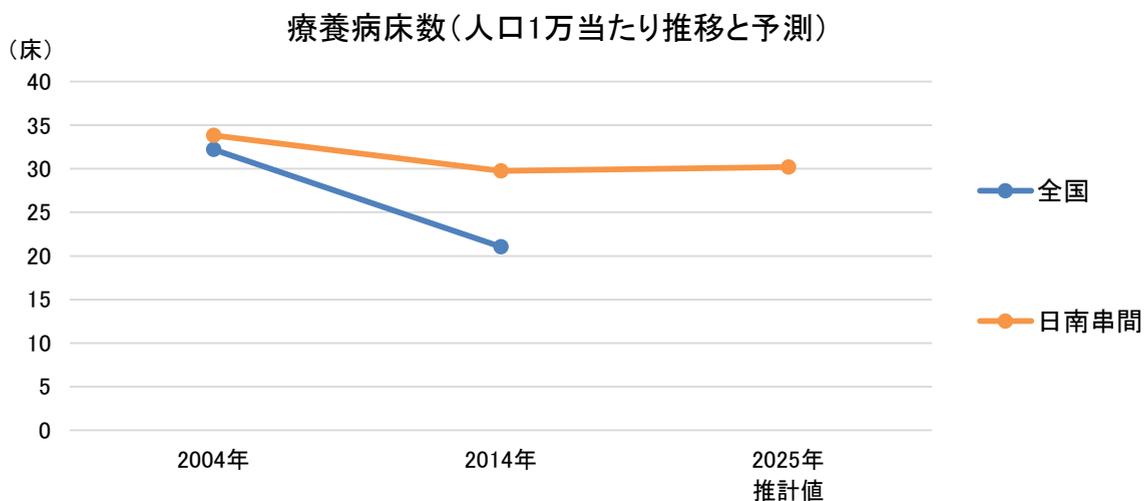
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が975床(人口1万人当たり117(全国平均84)偏差値62)であったが、2014年に905床(人口1万人当たり124(全国平均78)偏差値67)と、70床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には828床(2025年の推計人口1万人当たり130)になることが予想される。



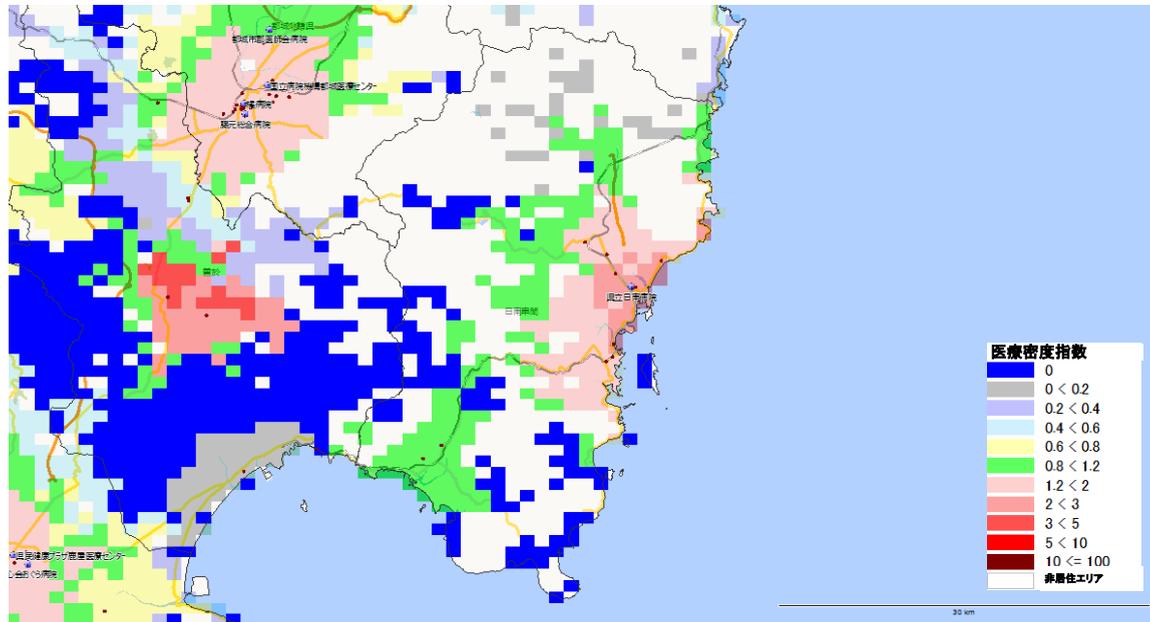
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が419床(75歳以上1000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2014年に441床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値57)と、22床の増加、率にして5%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には465床(2025年の推計75歳以上1000人当たり30)になることが予想される。



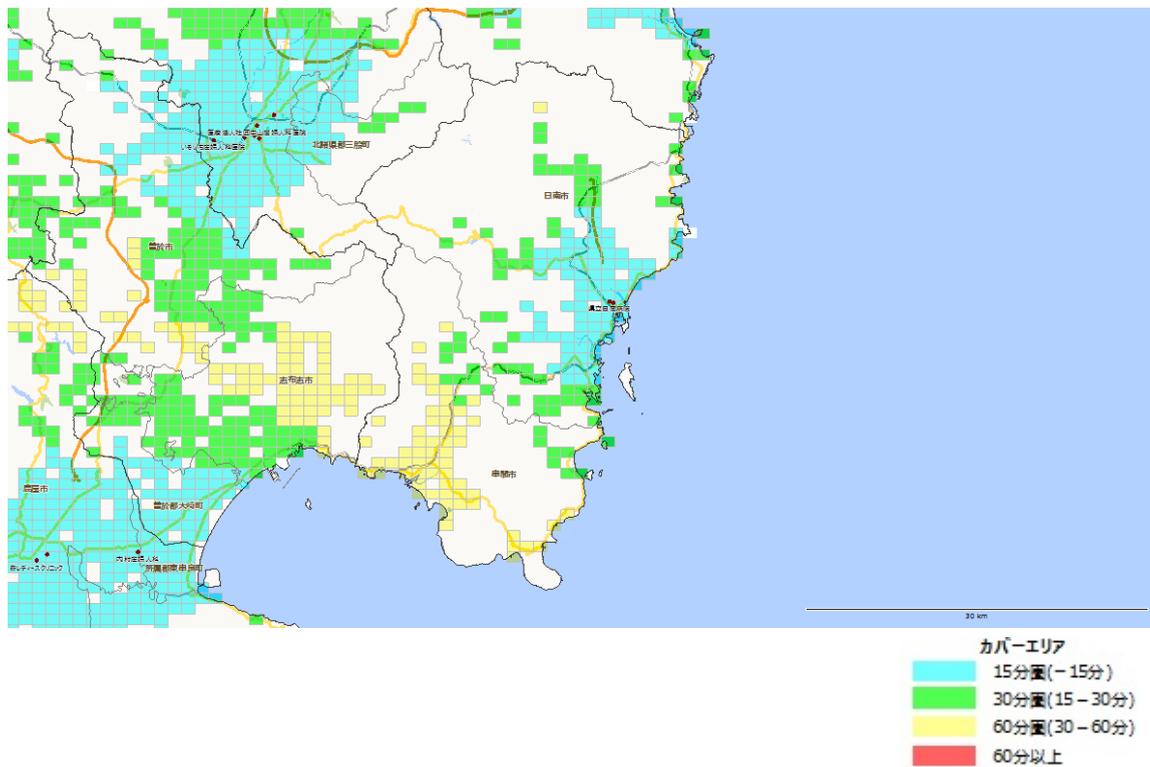
(日南串間医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表45-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

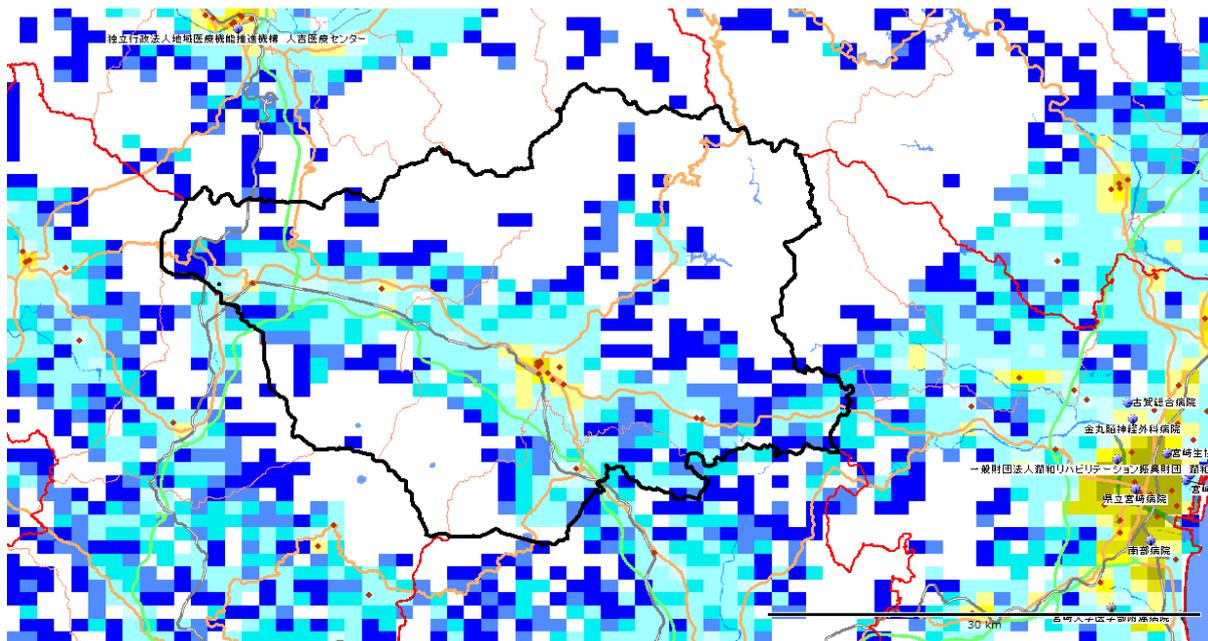
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



45-5. にしもろ 西諸医療圏

構成市区町村⁹ [小林市](#) [えびの市](#) [高原町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(西諸医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 西諸(小林市)は、総人口約75千人(2015年)、面積931km²、人口密度は81人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 西諸の総人口は2025年に67千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に55千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて16千人へと増加し(2015年比+7%)、2040年には16千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 西諸の一人当たり医療費(国保)は398千円(偏差値62)、介護給付費は304千円(偏差値64)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 西諸の一人当たり急性期医療密度指数²は0.72、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.23で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数44、診療所医師数48)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は68と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。西諸には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値67と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は64で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 西諸の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1505人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1010床(偏差値54)、高齢者住宅等が495床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1234人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設69、有料老人ホーム42、軽費ホーム53、グループホーム70、サ高住32である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、147人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(西諸医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西諸医療圏の総人口は、2005年83522人が、2015年に75059人と10%減少し、2025年の人口が67147人と予測され、2005年→2025年の間に20%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

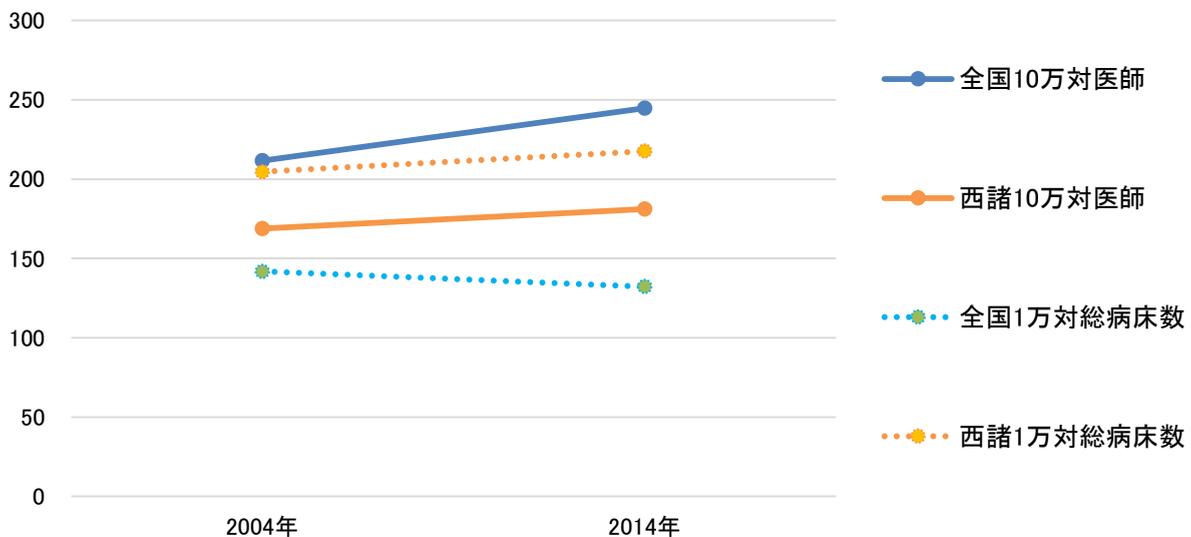
2004年の病院数が18(人口10万人当たり21.6病院(全国平均7.1)偏差値88)であったが、2014年に16(人口10万人当たり21.3病院(全国平均6.7)偏差値85)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が61(人口10万人当たり73診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に58(人口10万人当たり77診療所(全国平均79)偏差値49)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が1709床(人口1万人当たり205(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に1634床(人口1万人当たり218(全国平均132)偏差値65)と、75床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

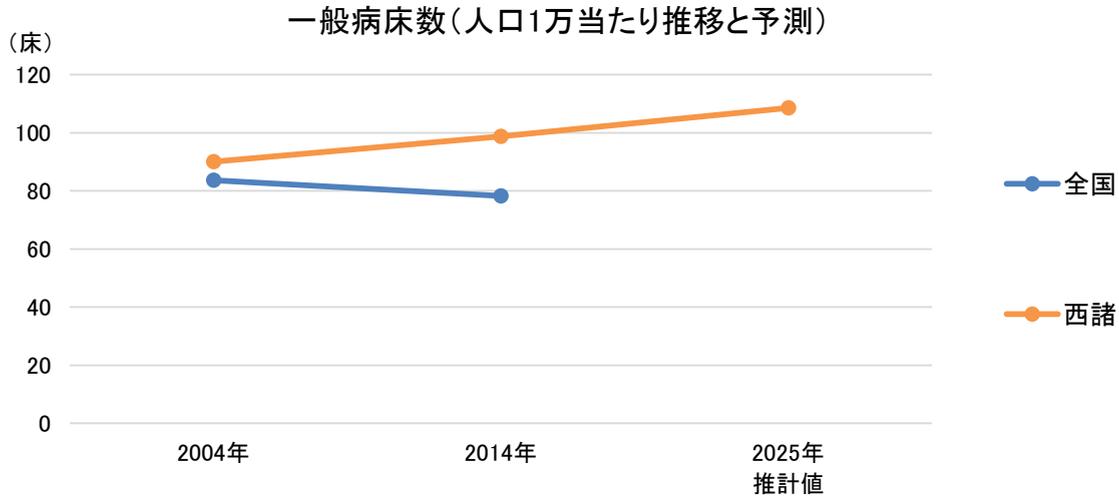
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が141人(人口10万人当たり169人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に136人(人口10万人当たり181人(全国平均245人)偏差値43)と、5人の減少、率にして4%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



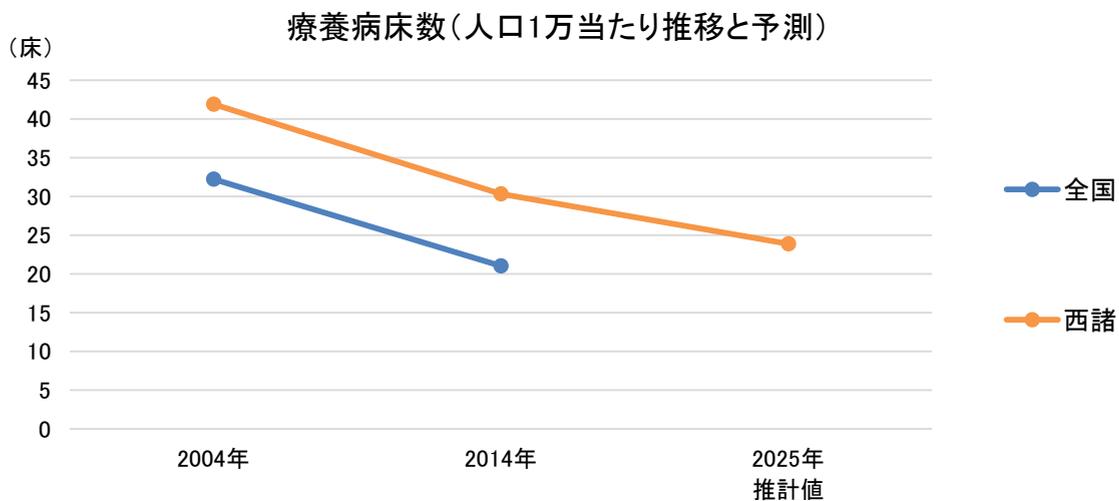
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が752床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に741床(人口1万人当たり99(全国平均78)偏差値58)と、11床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には729床(2025年の推計人口1万人当たり109)になることが予想される。



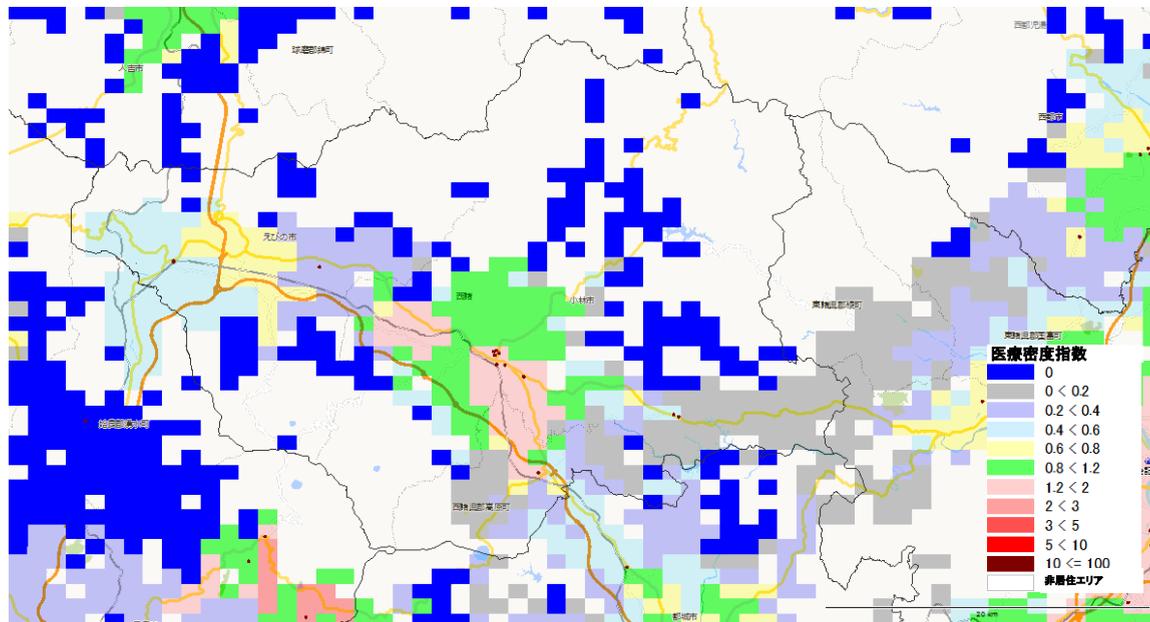
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が522床(75歳以上1000人当たり42(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に458床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値58)と、64床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には388床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。



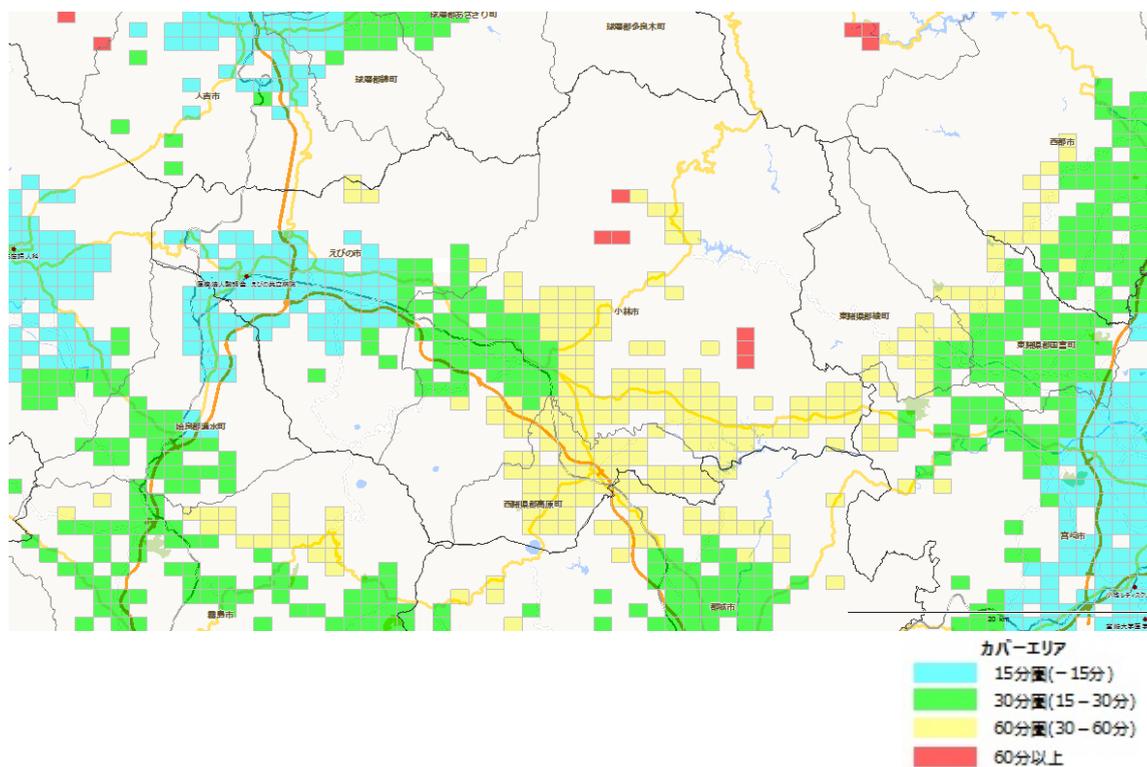
(西諸医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表45-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

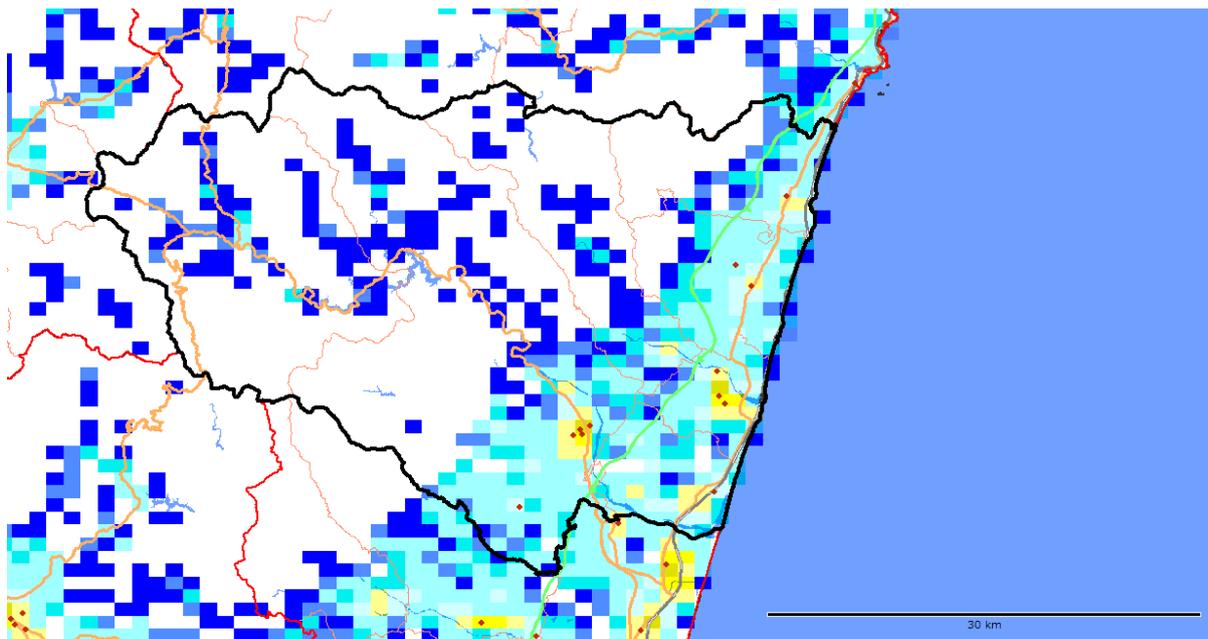
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



45-6. さいとこゆ 西都児湯医療圏

構成市区町村⁹ [西都市](#) [高鍋町](#) [新富町](#) [西米良村](#)
[木城町](#) [川南町](#) [都農町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPG病院



(西都児湯医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 西都児湯(西都市)は、総人口約102千人(2015年)、面積1154km²、人口密度は88人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 西都児湯の総人口は2025年に94千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に78千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の17千人が、2025年にかけて20千人へと増加し(2015年比+18%)、2040年には19千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 西都児湯の一人当たり医療費(国保)は344千円(偏差値50)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 西都児湯の一人当たり急性期医療密度指数²は0.87、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.51で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数40、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は31と非常に少ない。西都児湯には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 西都児湯の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1471人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1027床(偏差値50)、高齢者住宅等が444床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1226人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム57、サ高住34である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、154人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(西都児湯医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西都児湯医療圏の総人口は、2005年111189人が、2015年に101901人と8%減少し、2025年の人口が93518人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

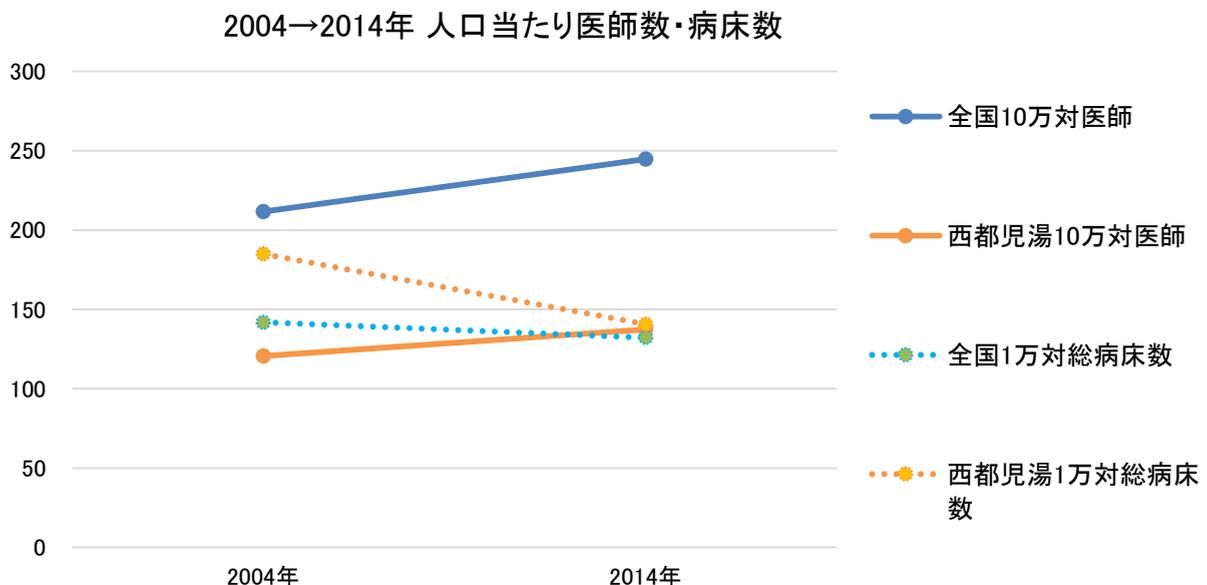
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が12(人口10万人当たり10.8病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に10(人口10万人当たり9.8病院(全国平均6.7)偏差値58)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が78(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に81(人口10万人当たり79診療所(全国平均79)偏差値50)と、3診療所が増加した。

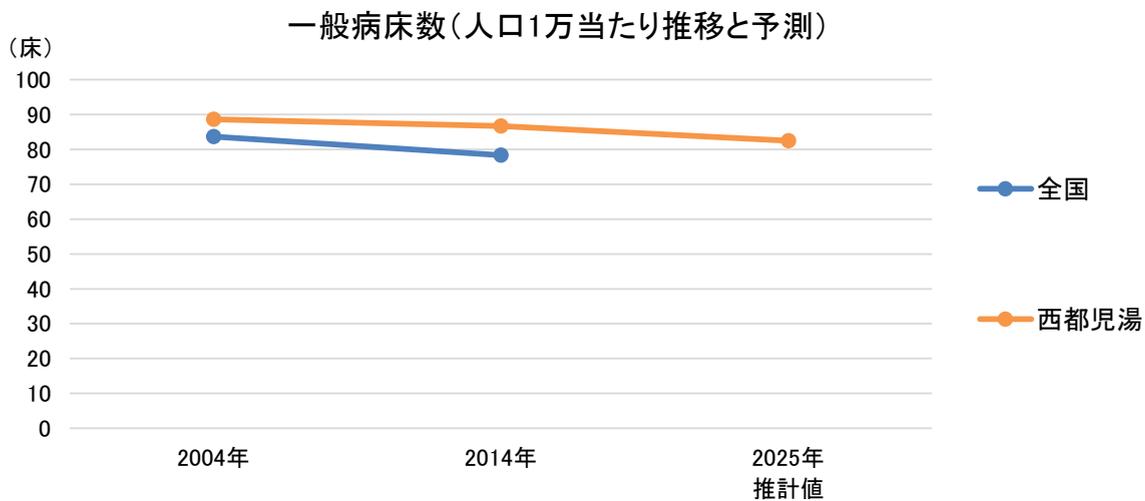
2004年の総病床数が2056床(人口1万人当たり185(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に1433床(人口1万人当たり141(全国平均132)偏差値51)と、623床の減少、率にして30%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が134人(人口10万人当たり121人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に140人(人口10万人当たり137人(全国平均245人)偏差値39)と、6人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



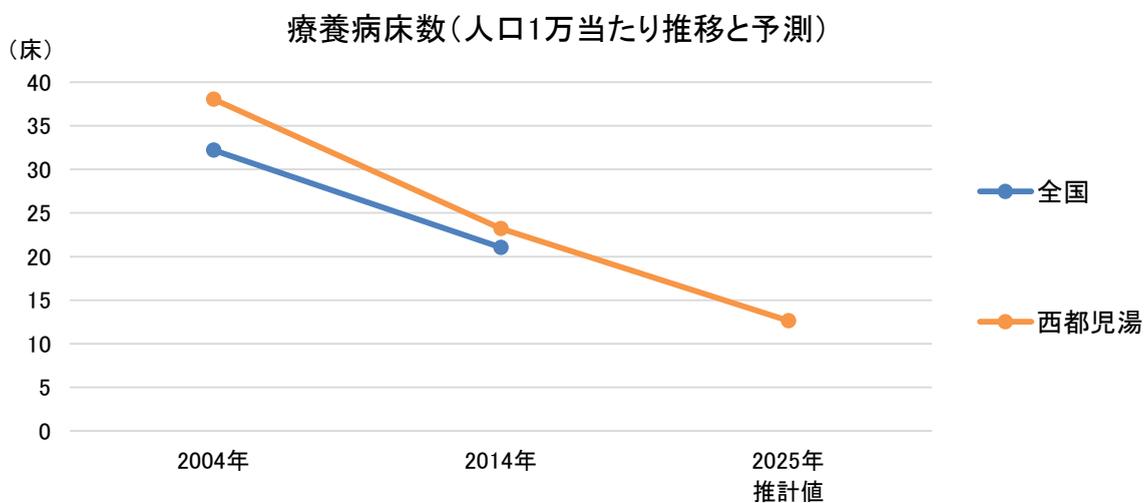
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が985床(人口1万人当たり89(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に883床(人口1万人当たり87(全国平均78)偏差値53)と、102床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には771床(2025年の推計人口1万人当たり82)になることが予想される。



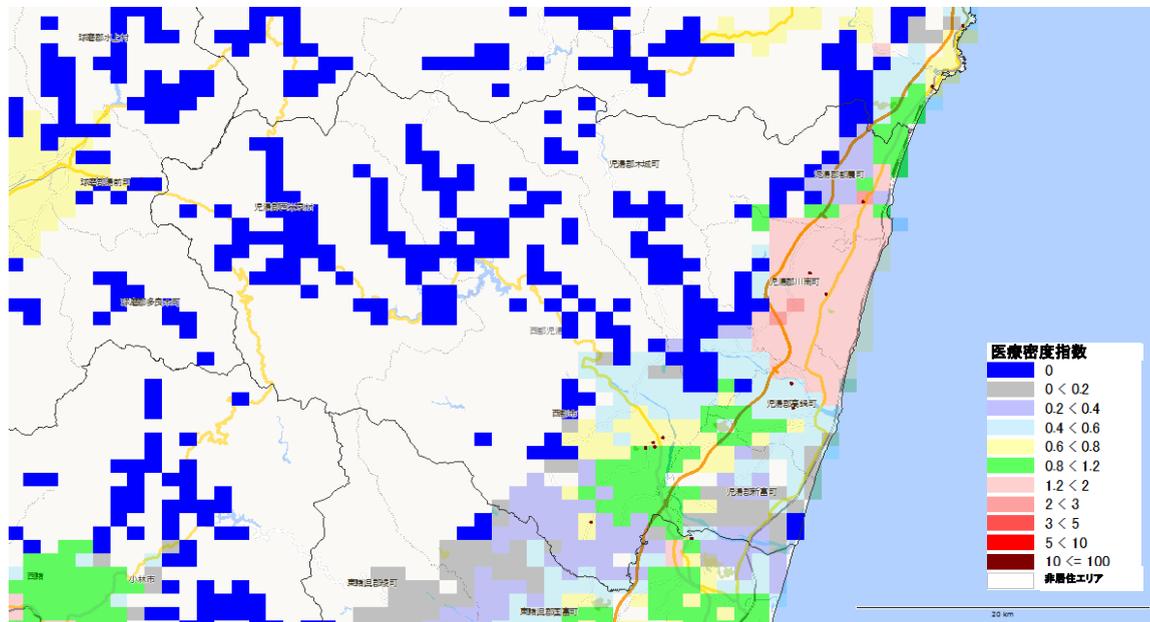
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が518床(75歳以上1000人当たり38(全国平均32)偏差値53)であったが、2014年に391床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、127床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には251床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



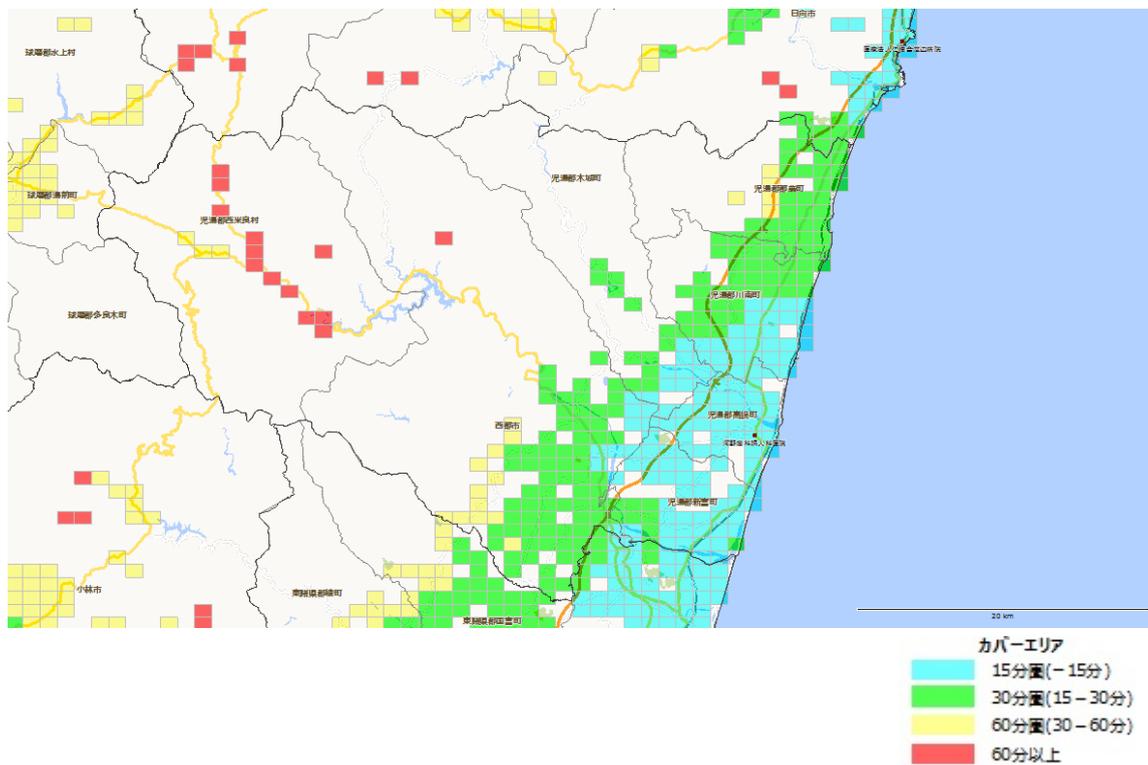
(西都児湯医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表45-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

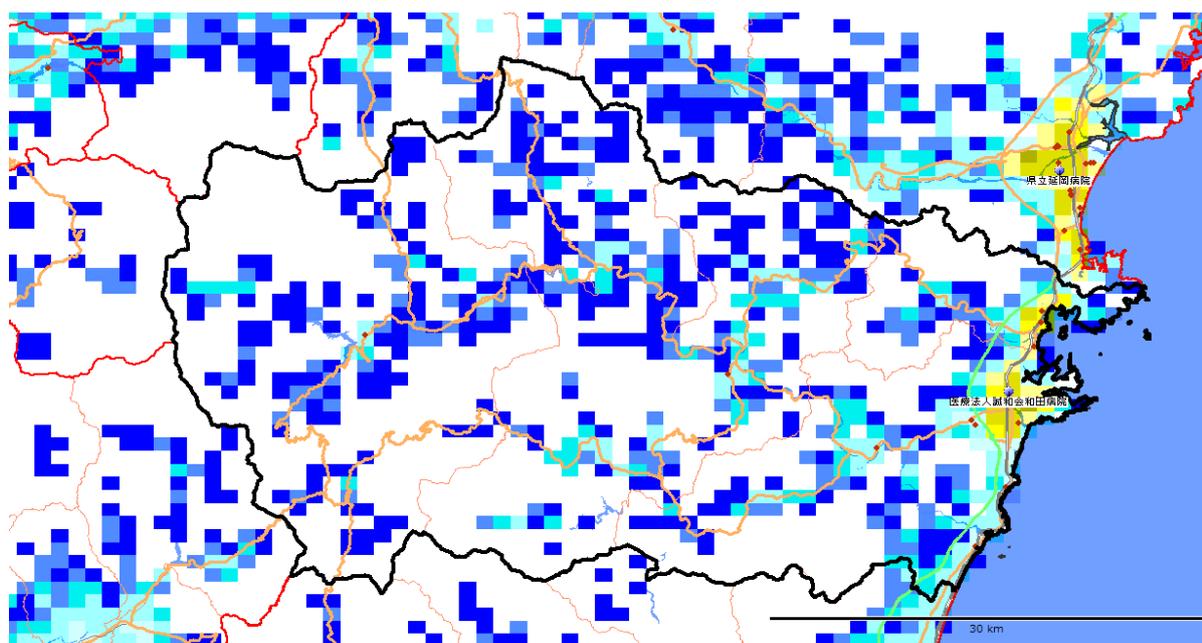
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



45-7. ひゅうがいりごう 日向入郷医療圏

構成市区町村⁹ [日向市](#) [門川町](#) [諸塚村](#) [椎葉村](#)
[美郷町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(日向入郷医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 日向入郷(日向市)は、総人口約90千人(2015年)、面積1631km²、人口密度は55人/km²の過疎地域型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 日向入郷の総人口は2025年に84千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に72千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて17千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には17千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 日向入郷の一人当たり医療費(国保)は388千円(偏差値60)、介護給付費は240千円(偏差値46)であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 日向入郷の一人当たり急性期医療密度指数²は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.99で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数42、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は65と多い。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。日向入郷には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値59と多い。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は79で精神病床数は非常に多い。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 日向入郷の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1289人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が826床(偏差値45)、高齢者住宅等が463床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1151人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設36、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム49、軽費ホーム53、グループホーム56、サ高住31である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員(在宅)の合計は、174人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(日向入郷医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

日向入郷医療圏の総人口は、2005年95233人が、2015年に89971人と6%減少し、2025年の人口が83559人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

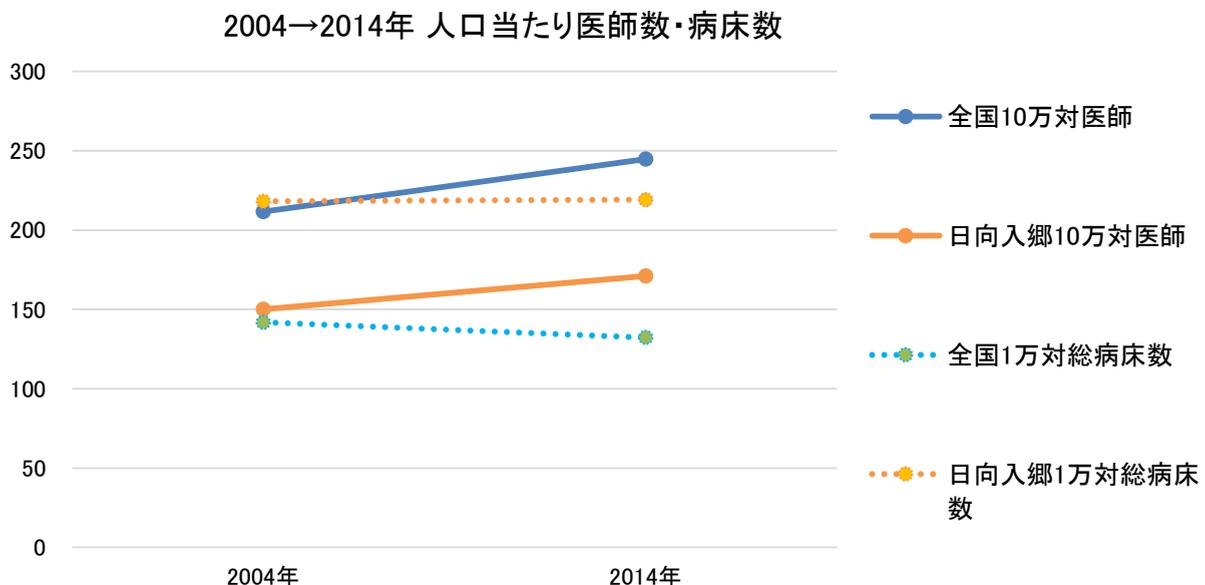
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が15(人口10万人当たり15.8病院(全国平均7.1)偏差値72)であったが、2014年に13(人口10万人当たり14.4病院(全国平均6.7)偏差値69)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が56(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2014年に60(人口10万人当たり67診療所(全国平均79)偏差値43)と、4診療所が増加した。

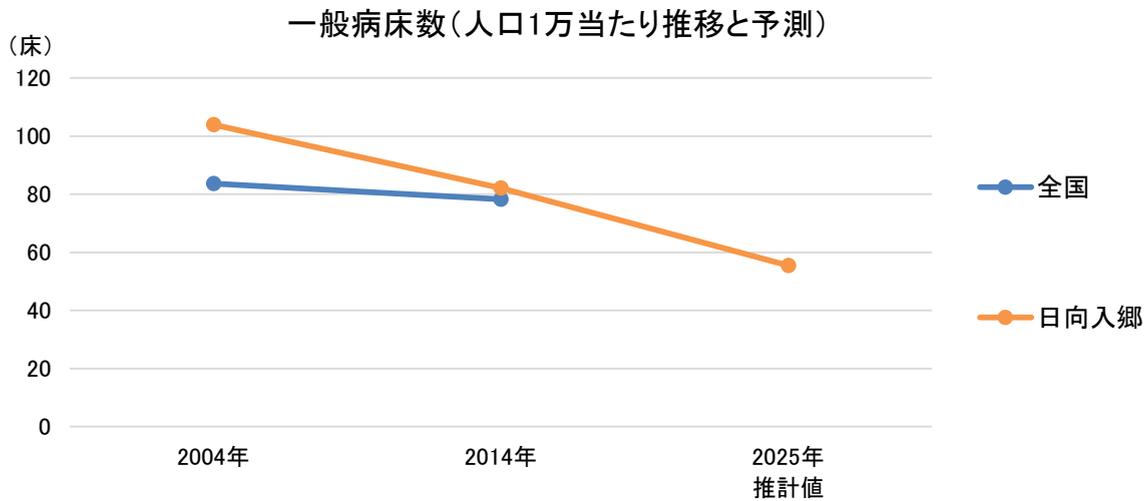
2004年の総病床数が2078床(人口1万人当たり218(全国平均142)偏差値64)であったが、2014年に1972床(人口1万人当たり219(全国平均132)偏差値65)と、106床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が143人(人口10万人当たり150人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に154人(人口10万人当たり171人(全国平均245人)偏差値42)と、11人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



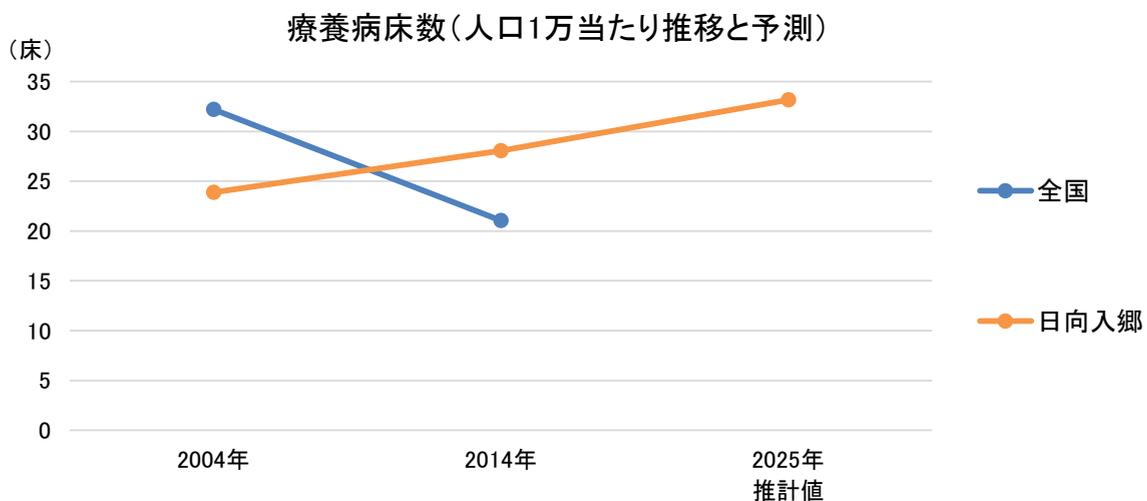
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が990床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に739床(人口1万人当たり82(全国平均78)偏差値51)と、251床の減少、率にして25%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には463床(2025年の推計人口1万人当たり55)になることが予想される。



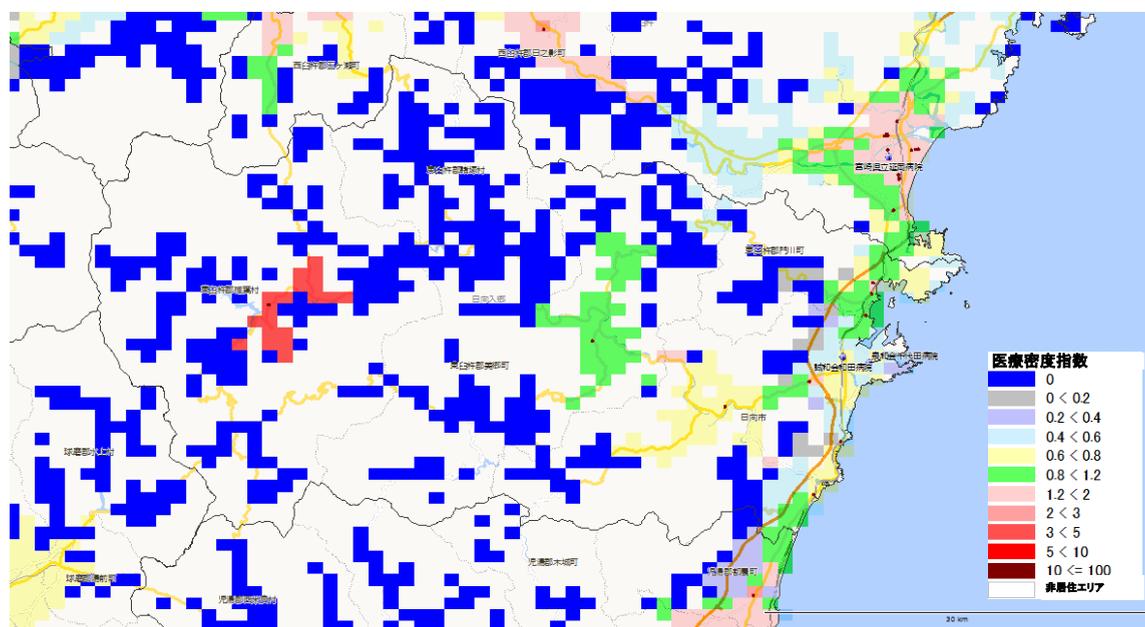
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が270床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に415床(75歳以上1000人当たり28(全国平均21)偏差値56)と、145床の増加、率にして54%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には575床(2025年の推計75歳以上1000人当たり33)になることが予想される。



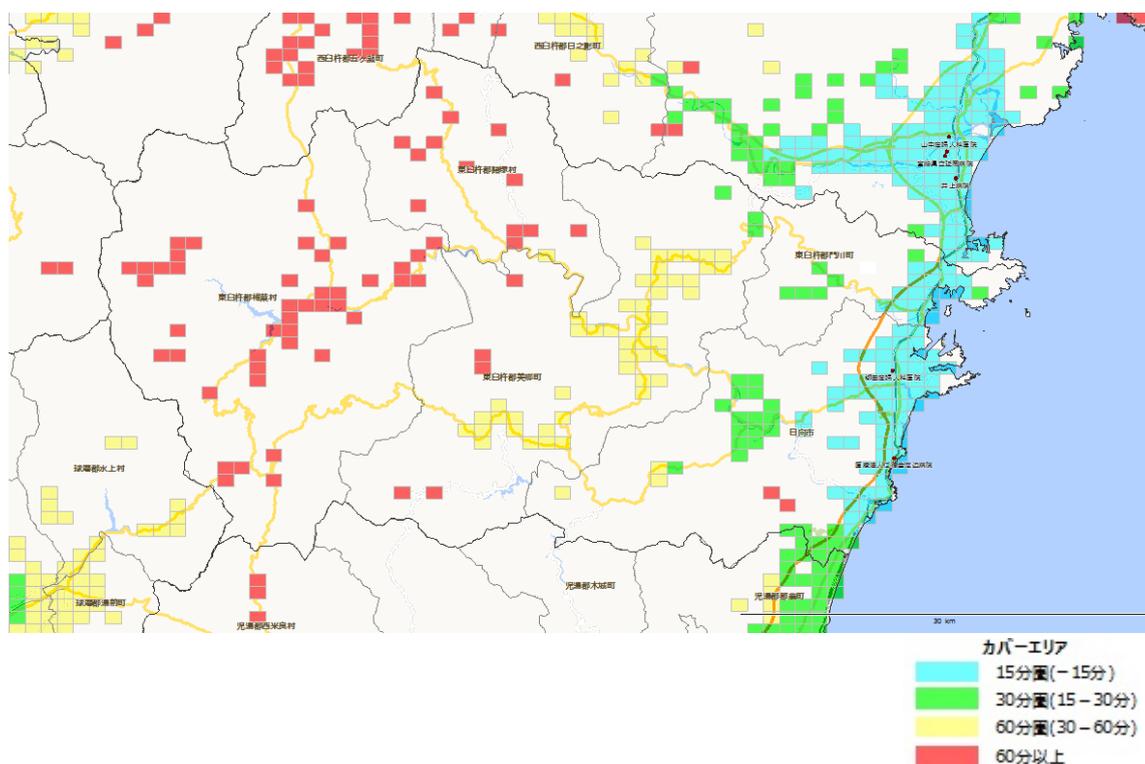
(日向入郷医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表45-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。